



FreeSpace® DXA 2120

Digital Mixer/Amplifier

設置および操作ガイド

このオーナーズガイドに記載された内容をよくお読みください。また、必要に応じてすぐご覧になれるように、大切に保管しておくことをおすすめします。

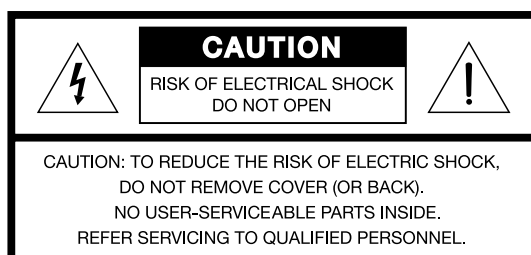
本製品は、専門の施工業者による設置のみを想定した製品です。本書は、一般的な固定設置システムにおける本製品を対象に、基本的な設置と安全上のガイドラインを施工業者様に提供します。設置を開始する前に、本書をお読みください。

**警告:**

- すべてのボーズ製品は、各地域、州、連邦、および業界の規制に従って使用する必要があります。各地の建築に関する条例や規則など、適用されるすべての法律に従って製品を設置することは施工業者の責任です。本製品を設置する前に、各地域の管轄官庁に相談してください。
- 火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- 水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶など、液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。液体が侵入すると、火災の原因となることがあります。
- 火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- この製品は屋内の水を使用するエリア（屋内プール、屋内ウォータerpark、浴室、サウナ、スチームサウナ、屋内スケートリンクなど）での設置または使用を意図していません。
- のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。

**注意:**

- この製品は、保護アース接続のあるAC電源コンセントに接続する必要があります。注意: 結露の可能性のある場所に本体を設置しないでください。
- 許可なく製品を改造しないでください。安全性、法令の遵守、システムパフォーマンスを損なう原因となり、製品保証が無効となる場合があります。
- 取り付け用部品は必ずラックメーカーの推奨品を使用してください。



この記号は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることを示します。




この記号は、このガイドに製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることを示します。


注記:

- 製品ラベルは本体底面にあります。
- 万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。
- この製品は、電源インバーターからの電源供給を想定した設計およびテストはされていません。
- この製品は、車両または船舶での使用を想定した設計およびテストは行われていません。

日本:

注: メインプラグを主電源に接続する前に、アース接続を行ってください。

1. このガイドをよくお読みください。
2. 必要な時にご覧になれるよう、本書を保管してください。
3. すべての注意事項に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品を水の近くで使用しないでください。
6. 清掃の際は乾いた布を使用してください。
7. 通気孔は塞がないでください。製造元の指示に従って設置してください。
8. ラジエータ、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発生する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
9. 極性プラグを使用する場合、極性プラグや接地極付きプラグの安全機能を損なうような使い方はしないでください。極性プラグには2つの端子があり、片方の端子がもう一方の端子よりも幅が広がっています。また、接地極付きプラグには2つの端子に加え、接地用のアース棒が付いています。極性プラグの広い方の端子または3番目の棒は、お客様の安全を守る機能を果たします。製品に付属のプラグがお使いのコンセントに合わない場合は、電気技師に連絡して新しいコンセントに取り替えてください。
10. 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
11. 必ず製造元より指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。
12.  製造元の指定する、または製品と一緒に購入されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、台以外は使用しないでください。カートを使用する場合、製品の載ったカートを移動する際には転倒による負傷が起きないように十分注意してください。
13. 雷雨時や長期間使用しない場合は、製品の損傷を防ぐため、電源プラグを抜いてください。
14. 修理が必要な際には、カスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、例えば電源コードやプラグの損傷、液体の侵入や内部への異物の落下、雨や水蒸気との接触、動作の異常、製品本体の落下などの際には、直ちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。
15. 火災や感電を避けるため、壁のコンセントや延長コード、テーブルタップなどの定格容量を超える状態で製品を使用しないでください。
16. 製品に異物が混入したり、液体が浸入しないようにしてください。
17. 製品本体の安全に関する表示を参照してください。
18. 火の付いたろうそくなどの火気を、機器の上に置かないでください。

 This product conforms to all applicable EU directive requirements. The complete Declaration of Conformity can be found at www.Bose.com/compliance.

Information About Products That Generate Electrical Noise (FCC Compliance Notice for US)

注: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at one's own expense.

This product complies with the Canadian ICES-003 Class A specifications.

CAN ICES-3(A)/NMB-3(A)

中国向け:



海拔2000 m未満の地域での使用にのみ適しています。



熱帯地域以外での使用にのみ適しています。

はじめに

| | |
|----------------|---|
| 製品概要..... | 6 |
| 製品の機能..... | 6 |
| 付属のアクセサリ..... | 7 |
| その他のアクセサリ..... | 7 |

フロントおよびリアパネル

| | |
|--------------|---|
| フロントパネル..... | 8 |
| リアパネル..... | 9 |

設置と操作

| | |
|------------------------------|----|
| 動作モードオプション..... | 10 |
| ミキサーモード..... | 10 |
| ステレオセレクトモード..... | 11 |
| デュアルモノセレクトモード..... | 12 |
| ハードウェアの設置..... | 13 |
| 設置ガイド..... | 13 |
| 棚への設置..... | 13 |
| ラックへの設置..... | 13 |
| ユーザーインターフェースの接続..... | 14 |
| ControlCenterゾーンコントローラー..... | 16 |
| CC-1の接続..... | 16 |
| CC-2の接続..... | 17 |
| システム配線..... | 20 |
| LINE 1~4ソース入力..... | 20 |
| DIRECTソース入力..... | 21 |
| PAGEソース入力..... | 22 |
| OUTPUT接続..... | 22 |
| AUX出力接続..... | 24 |
| AC電源接続..... | 24 |
| DC電源接続..... | 24 |

システムセットアップ

| | |
|-----------------------|----|
| システムセットアップ手順..... | 25 |
| ミキサーモード設定..... | 27 |
| ステレオセレクトモード設定..... | 32 |
| デュアルモノセレクトモード設定..... | 36 |
| ユーティリティモード設定について..... | 40 |

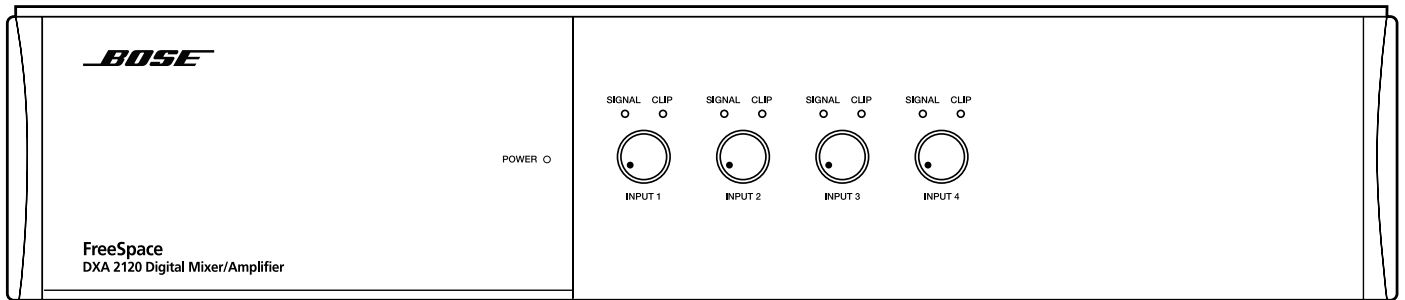
仕様

| | |
|-----------------|----|
| 故障かな?と思ったら..... | 41 |
| 保証..... | 41 |
| 出荷時設定..... | 42 |

追加資料

| | |
|------------|----|
| 連絡先情報..... | 43 |
| 輸入者情報..... | 43 |

図1. Bose® FreeSpace® DXA 2120 Digital Mixer/Amplifier



製品概要

Bose® FreeSpace® DXA 2120 Digital Mixer/Amplifierには、DSP機能と2チャンネルのパワーアンプ出力が内蔵されています。商業空間向けミキサー/ルーターとして設計され、フロントカバーの中にアクセスしやすいLCDパネルとコントロール類が配置されています。

マイク/ライン入力(x4)、ペーシング入力(x1)、ダイレクト入力(x1)の6チャンネル入力を備えています。ダイレクト入力は、出力チャンネルで再生されるすべてのソースよりも優先されます。マイク/ライン入力はそれぞれ、RCA/ユーロブロックの両ジャックを備えています。

2つの出力チャンネルはそれぞれ120W (4Ω)対応です。70/100V使用時には、適切に構成するためにジャンパーが必要です。70/100V電源使用時、2つの出力はチャンネルあたり100Wで動作します。AUXラインアウト出力が可能です。

製品の機能

・シグナルミキシング

ミキサーモードでは、3種類のいずれの入力でも最大4入力を同時にミックスします。

・シグナルラウンディング

デュアルモノセレクトモードでは、1系統または2系統の入力を異なるゾーンの2系統の各出力に割り当て、リモートで選択できるようにします。ステレオセレクトモードでは、2系統のステレオ音源を1つの出力ゾーンに割り当て、リモートで選択できるようにします。

・Opti-voice®ペーシング

音楽とペーシング信号をスムーズに切り替える機能です。

・ダイナミックEQ

あらゆる音量レベルで適切な音質を維持します。

・Bose®スピーカーEQ

Bose®製スピーカー用のEQ機能を提供します。

・オートマッチックゲインコントロール (AGC)

有効な場合、低レベルのソース(低感度のマイクなど)を自動で補正します。

・ルームEQ

リスニングゾーンで最適な音質が得られるように簡単に調整できます。

・通信ポート

システムアップデート用のRS-232シリアルポートが含まれます。

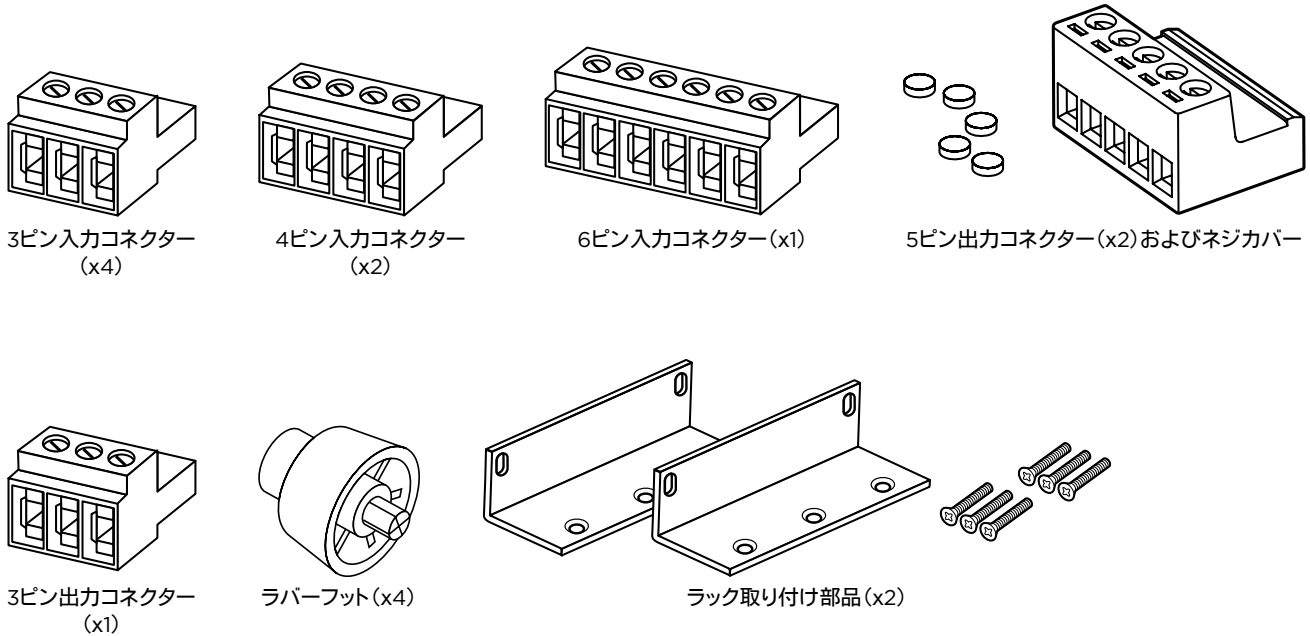
・バックアップ電源

+24V DCバックアップ電源用の入力端子があります。

付属のアクセサリ

FreeSpace® DXA 2120 Digital Mixer/Amplifierの梱包箱には、ミキサー／アンプ1台と次のアクセサリが含まれています。

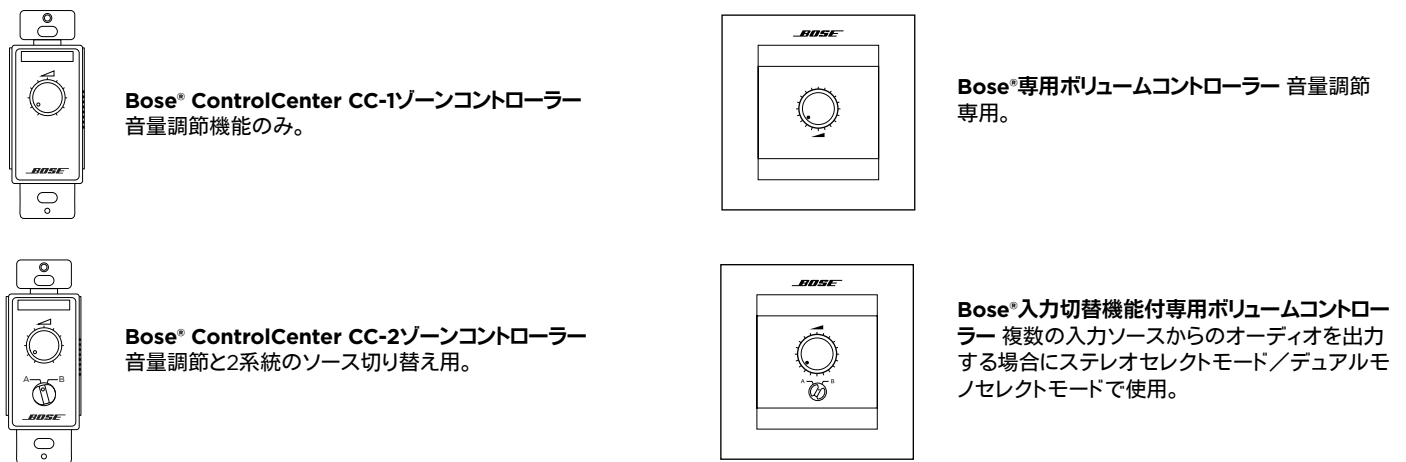
図2.FreeSpace® DXA 2120 Digital Mixer/Amplifierの梱包箱の内容



その他のアクセサリ

用途に応じた次のBose®アクセサリは、FreeSpace® DXA 2120 Digital Mixer/Amplifierには付属しません。

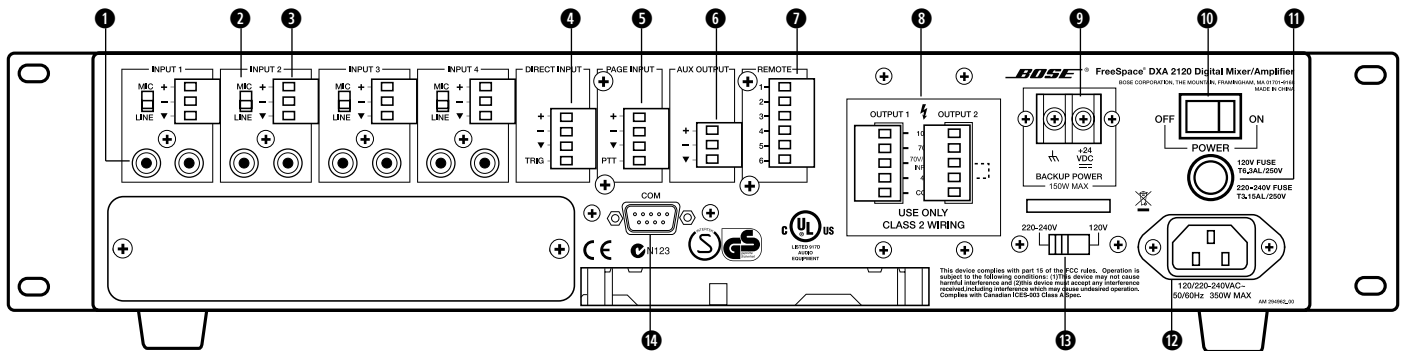
図3.FreeSpace® DXA 2120 Digital Mixer/Amplifier用の4タイプのボリュームコントローラー



本体に1~2つのユーザーインターフェースを接続すると、そのユーザーインターフェースに割り当てられた出力のゲインつまみは無効になります。

DXA 2120リアパネル

図6.FreeSpace® DXA 2120アンプのリアパネル



- ❶ ライン入力 - 各入力(x2)のアンバランスRCAオーディオジャック(モノラルミックス)。
- ❷ MIC/LINEスイッチ - ユーロブロック入力コネクタ(x4)で使用する信号レベルを調整します(マイク接続にはユーロブロック入力ジャックが必要)。
- ❸ MIC/LINE入力 - バランスユーロブロック入力ジャック。入力ごとに1つ。
- ❹ DIRECT INPUT - バランス優先入力ジャック。
- ❺ PAGE INPUT - バランスオーディオ入力ジャック。
- ❻ AUX OUTPUT - 他のアンプ機器用のラインレベル信号出力。
- ❼ REMOTE - 専用ボリュームコントローラーおよび入力切替機能付専用ボリュームコントローラー用の入力ジャック。
- ❽ OUTPUT 1 & 2 - スピーカー接続用の2つのパワー出力(70V/100V、4Ω)。
- ❾ BACKUP POWER - バックアップ電源接続用。
- ❿ POWER OFF/ON - AC電源スイッチ。
- ⓫ ヒューズ - 120V T6.3AL/250Vまたは220-240V T3.15AL/250V。
- ⓬ AC電源ジャック - AC電源入力。
- ⓭ 120V/220-240Vスイッチ - 120Vと220-240V AC入力電圧切り替え用。100V AC入力電圧モデルには付いていません。
- ⓮ COM - RS-232シリアルポート(システムアップデート用)。

動作モードオプション

接続をする前に、設置場所で音源をどのように分配するかを決めてください。これは、1ゾーンにするか2ゾーンにするか、必要とするカバレッジのタイプや使用する音源によって異なります。

本ミキサー／アンプには次の3つの操作モードが用意されています。

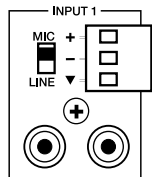
- ミキサーモード
ミキサーモードでは、最大4系統のマイク／ライン入力をミックスし、2系統の各出力チャンネルに割り当て、1つまたは2つのゾーンで使用するように設定できます。
- ステレオセレクトモード
ステレオセレクトモードでは、最大2系統のステレオ音源を両方の出力チャンネルを使用して、単一の出力ゾーンにステレオサウンドを提供します。11ページの「ステレオセレクトモード」を参照してください。
- デュアルモノセレクトモード
デュアルモノセレクトモードでは、最大2系統の入力ソースを2系統の各出力チャンネルに接続し、オーディオを2つのゾーンに分配します。12ページの「デュアルモノセレクトモード」を参照してください。

ミキサーモード

RCAジャックまたはユーロブロックコネクタを使用して、ラインレベルソースを接続できます。各入力の2つのRCAジャックの音源はモノラルにミックスされます。

マイクは、ユーロブロックコネクタを使用して接続する必要があります。MIC/LINEスイッチがMICに設定されていることを確認してください。

図7.MIC/LINEスイッチ



ミキサーモードのソースは、次のように両出力またはどちらかの出力にルーティングできます。

Source 1 → INPUT 1 → OUTPUT 1 and/or 2
 Source 2 → INPUT 2 → OUTPUT 1 and/or 2
 Source 3 → INPUT 3 → OUTPUT 1 and/or 2
 Source 4 → INPUT 4 → OUTPUT 1 and/or 2

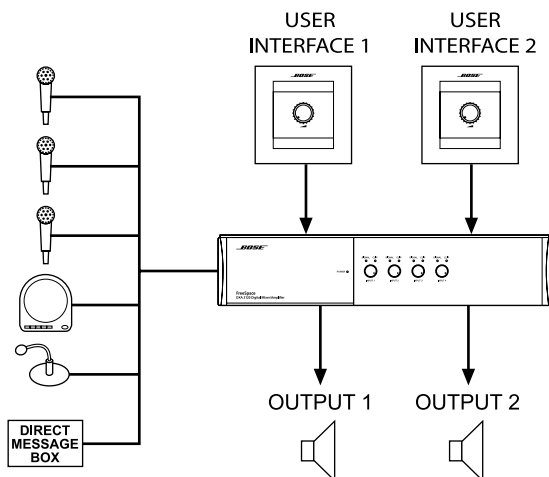
ソースをそれぞれ別々にAUX出力にルーティングできます。

通常、OUTPUT 1と2のゲインコントロールを使用して、OUTPUT 1と2のゲインをそれぞれ調整します。このモードでは、MASTERVOL LINKEDオプションを使用すると、OUTPUT 1のゲインコントロールでOUTPUT 1と2のゲインを同時に調整するよう設定できます。

注: ユーザーインターフェースを使用すると、本体の出力ゲインつまみは無効になります。

オプションで、1つまたは2つのボリュームコントローラーを使用できます。詳細については、18ページの「各モードのユーザーインターフェース要件」をご覧ください。

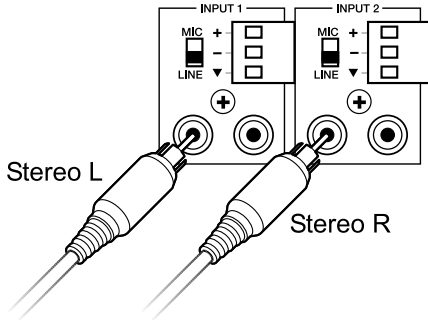
図8.ボリュームコントローラーを使用したミキサーモード



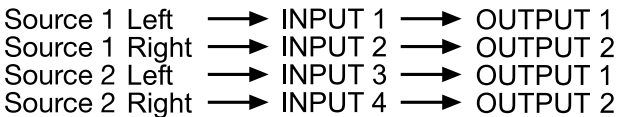
ステレオセレクトモード

RCAジャックまたはユーロブロックコネクターを使用して、ラインレベルソースを接続できます。ステレオ音源をRCAジャックに接続するには、それぞれのINPUTの左右どちらかのRCAジャックを使用します。

図9.ステレオ(左)とステレオ(右)の入力



ステレオセレクトモードでの音源のルーティングは次のとおり固定されます。



AUX出力は次のように設定できます。

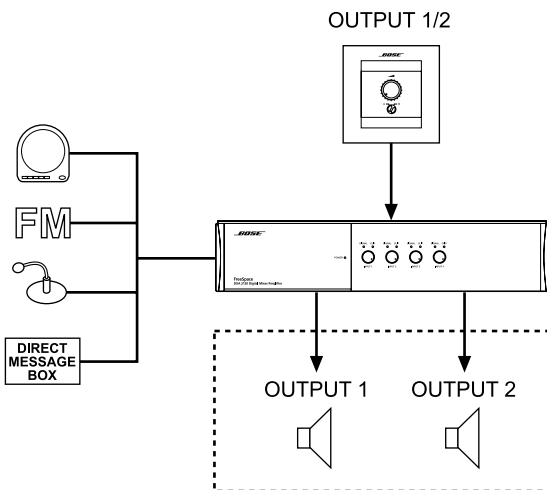
- INPUT 1と2のオーディオ(モノラルミックス)を連続再生(ソース1)
- INPUT 3と4のオーディオ(モノラルミックス)を連続再生(ソース2)
- ソースを専用ボリュームコントローラーの入力切替を使用して選択します。

このモードでは、入力切替機能付専用ボリュームコントローラーを使用して、1ゾーンに1つのユーザーインターフェースを使用できます。

注: ユーザーインターフェースを使用すると、本体の出力ゲインつまみは無効になります。

詳細については、18ページの「各モードのユーザーインターフェース要件」をご覧ください。

図10.ボリュームコントローラーを使用したステレオセレクトモード



デュアルモノセレクトモード

RCAジャックまたはユーロブロックコネクターを使用して、ラインレベルソースを接続できます。各入力の2つのRCAジャックの音源はモノラルにミックスされます。

デュアルモノセレクトモードでの音源のルーティングは次のとおり固定されます。

Source 1 → INPUT 1 → OUTPUT 1
 Source 2 → INPUT 2 → OUTPUT 1
 Source 3 → INPUT 3 → OUTPUT 2
 Source 4 → INPUT 4 → OUTPUT 2

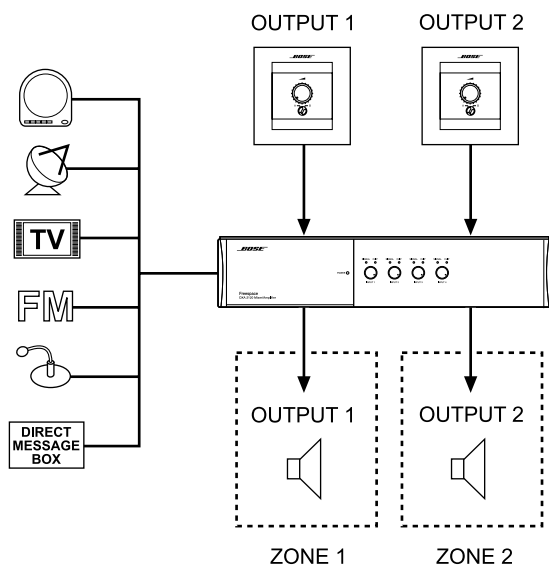
AUX出力は、OUTPUT 1のトラックングか、INPUT 1からの連続再生オーディオのトラックング用に設定できます。

このモードでは、入力切替機能付専用ボリュームコントローラーを使用して、各出力チャンネルに1つのユーザーインターフェースを使用できます。

注: ユーザーインターフェースを使用すると、本体の出力ゲインつまみは無効になります。

詳細については、18ページの「各モードのユーザーインターフェース要件」をご覧ください。

図11. ボリュームコントローラーを使用したデュアルモノセレクトモード



ハードウェアの設置

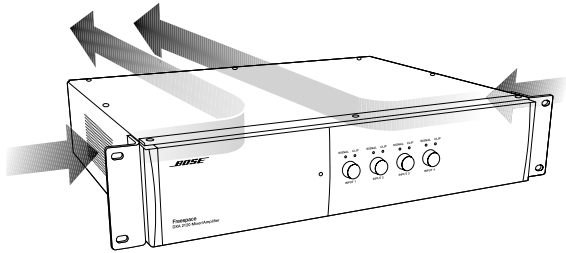
このセクションでは、FreeSpace® DXA 2120 Digital Mixer/Amplifierの設置と配線の方法を説明します。

設置ガイド

ミキサー／アンプ本体の設置に際しては、次の点に注意してください。

- 本体の背面、側面、上面の空気の流れを妨げないようにし、風通しをよくしてください。本体には両側面の吸気口と背面の排気口があります。通気孔を覆ったり、塞いだりしないでください。

図12.DXA 2120の吸気と排気の流れ



- 本体ケースを熱から保護して、暖房の吹き出し口やラジエーターなどの熱源に直接あたらないようにしてください。

! **注意:** 本体ケースの温度が最大動作温度の50° Cを超えないようにしてください。閉じられたラックでは、室温より温度が高くなることに注意してください。

棚への設置

Bose® FreeSpace® DXA 2120 Digital Mixer/Amplifierには、棚やカウンター上に設置するときを使うラバーフットが付属します。これは、設置面を保護し、本体が動かないようにするはたらきをします。設置場所を選ぶときは、前述の「設置ガイド」に従ってください。

1. ミキサー／アンプを上下逆さにして、しっかりした水平面に置きます。本体ケース上部に傷がつかないように、保護できるものを下に敷いてください。
2. 付属するラバーフットを本体底面の4つの穴にそれぞれ取り付けます。ドライバーでロックピンを本体にしっかりとめ込み、ラバーフットを固定します。

注: ラバーフットを外すには、ねじ穴にドライバーを入れて、ねじが穴から出るまで反時計回りに回します。

ラックへの設置

本体を設置するには、高さが2ラックスペースユニット(4.4 cm x2)、奥行が40.6 cm(背面の支持部を含む)のラックスペースが必要です。

1. 付属するラック取り付け部品を使用して設置してください。
2. 4本のネジとワッシャー(付属しません)を使用して本体をラックに固定し、フロントパネルを傷つけないようにしてください。

注: ネオプレンゴムワッシャーを使用するとネジを確実に固定でき、輸送時の振動でネジが抜け落ちるのを防止できます。

図13.ラック取り付け部品を本体に固定

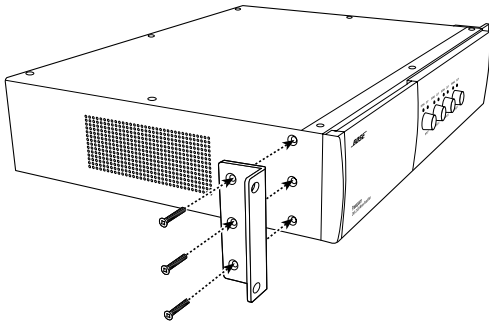
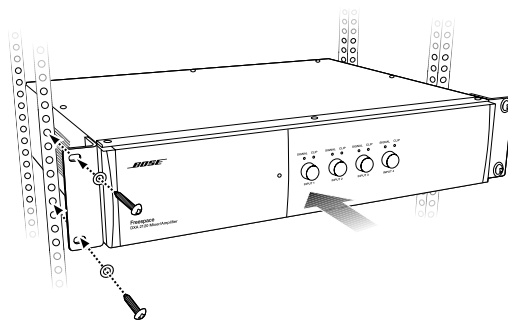


図14.本体をラックに設置(ラック用のネジとワッシャーは付属しません)



! **注意:** 本体をラックに設置したまま輸送する場合は、ラック内で本体背面を支持するようにしてください。本体の下に棚板を入れるか、ブラケットを使用して背面を支持してください。適切に支持しないと、本体を損傷するおそれがあります。

注意: 取り付け用部品は必ずラックメーカーの推奨品を使用してください。

ユーザーインターフェースの接続

FreeSpace® DXA 2120 Digital Mixer/Amplifierは、次のBose®ユーザーインターフェースに対応しています(7ページの「その他のアクセサリ」にも記載されています)。

- Bose®専用ボリュームコントローラー(PC 041966)
- Bose®入力切替機能付専用ボリュームコントローラー(PC 041967)
- Bose® CC-1 ControlCenterゾーンコントローラー - 専用ボリュームコントローラー
- Bose® CC-2 ControlCenterゾーンコントローラー - 入力切替機能付専用ボリュームコントローラー

図15.専用ボリュームコントローラー

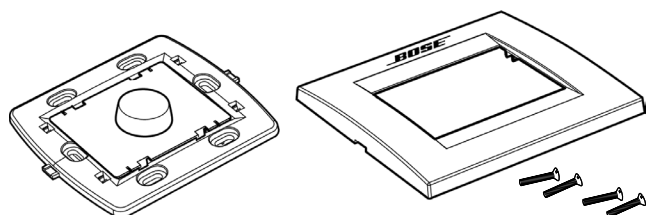
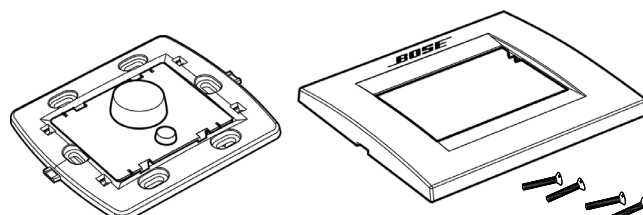
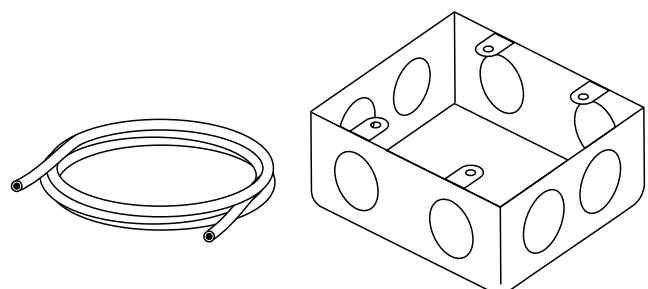


図16.入力切替機能付専用ボリュームコントローラー



その他必要な機器(付属しません):

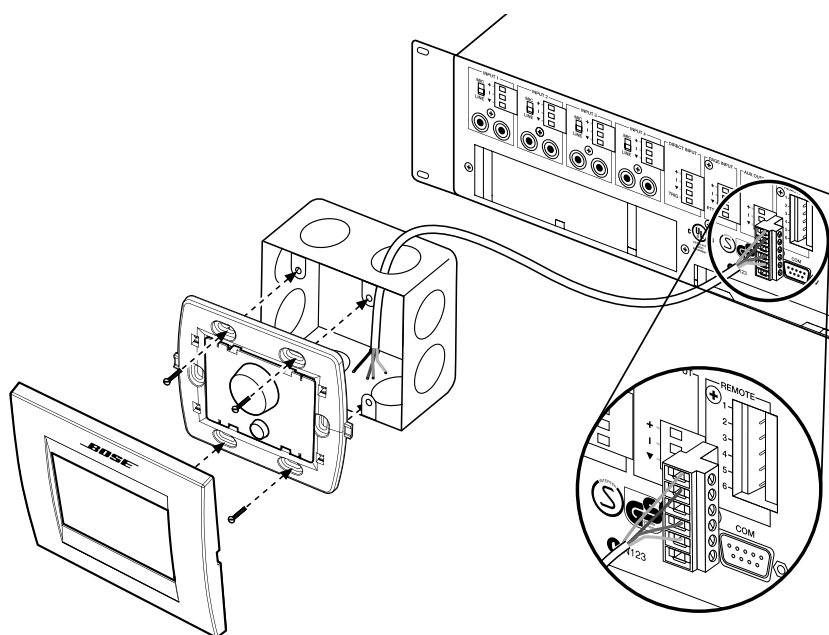
図17.ケーブルおよびダブルギャング電気ボックス



DXA 2120設置のケーブル要件:

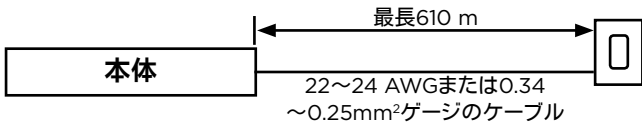
- 専用ボリュームコントローラーの場合は、データグレードのシングルツイストペアケーブルを使用します(22~24 AWGまたは0.34~0.25mm²)。
- 入力切替機能付専用ボリュームコントローラーの場合は、データグレードの2ツイストペアケーブルを使用します(22~24 AWGまたは0.34~0.25mm²)

図18.FreeSpace® DXA 2120 Digital Mixer/Amplifierのユーザーインターフェース接続

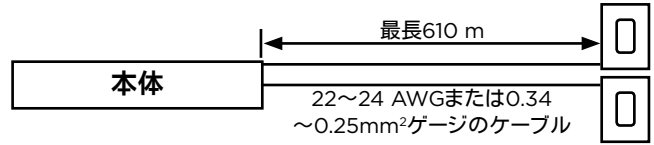


推奨されるケーブル長:

ユーザーインターフェースx1



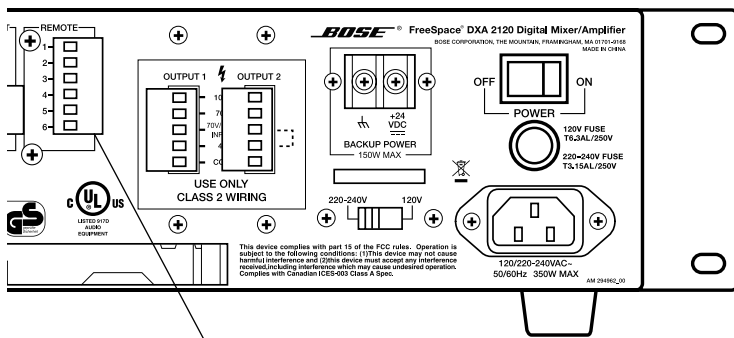
ユーザーインターフェースx2



ユーザーインターフェースのケーブルを6ピンコネクターの正しい端子に接続し、REMOTEジャックに接続します。

! 注意: ユーザーインターフェースをミキサー/アンプに接続するには、必ず22~24 AWGまたは0.34~0.25mm²ゲージのケーブルを使用してください。

図19.背面の接続パネル



ユーザーインターフェース用ジャック(ユーロブロックコネクター)

ユーザーインターフェースの配線:

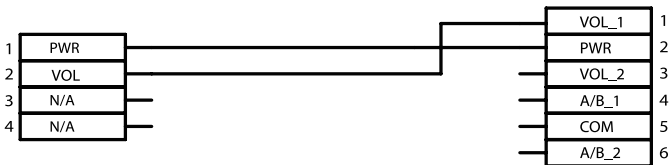
ユーザーインターフェースコネクター

6ピン入力コネクター(本体REMOTEジャックに接続)

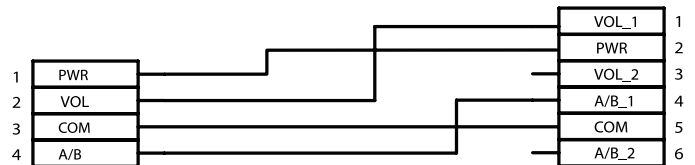
ユーザーインターフェースコネクター

6ピン入力コネクター(本体REMOTEジャックに接続)

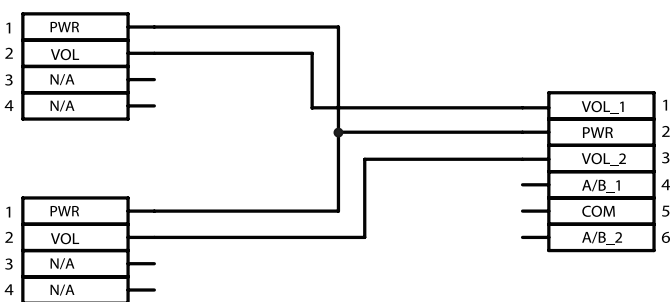
専用ボリュームコントローラーx1



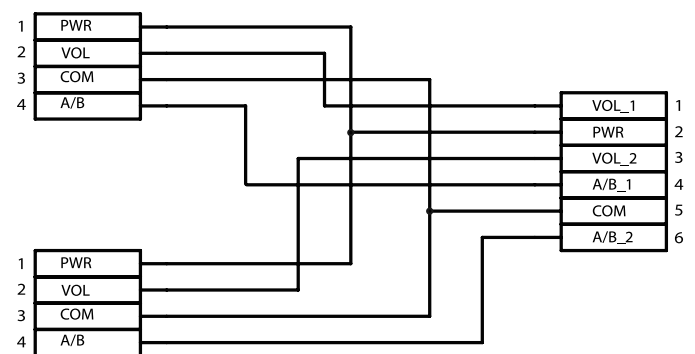
入力切替機能付専用ボリュームコントローラーx1



専用ボリュームコントローラーx2



入力切替機能付専用ボリュームコントローラーx2



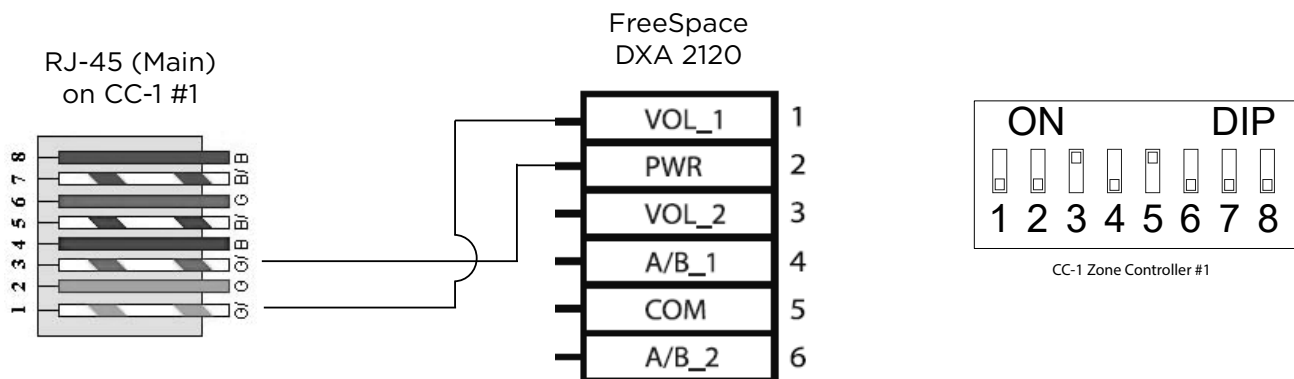
ControlCenterゾーンコントローラー

本機は、CC-1 ControlCenterゾーンコントローラーによるリモート音量調節と、CC-2 ControlCenterゾーンコントローラーによるリモート音量調節および入力切替に対応しています。詳細は、該当するボリュームコントローラーの設置ガイドをご参照ください。

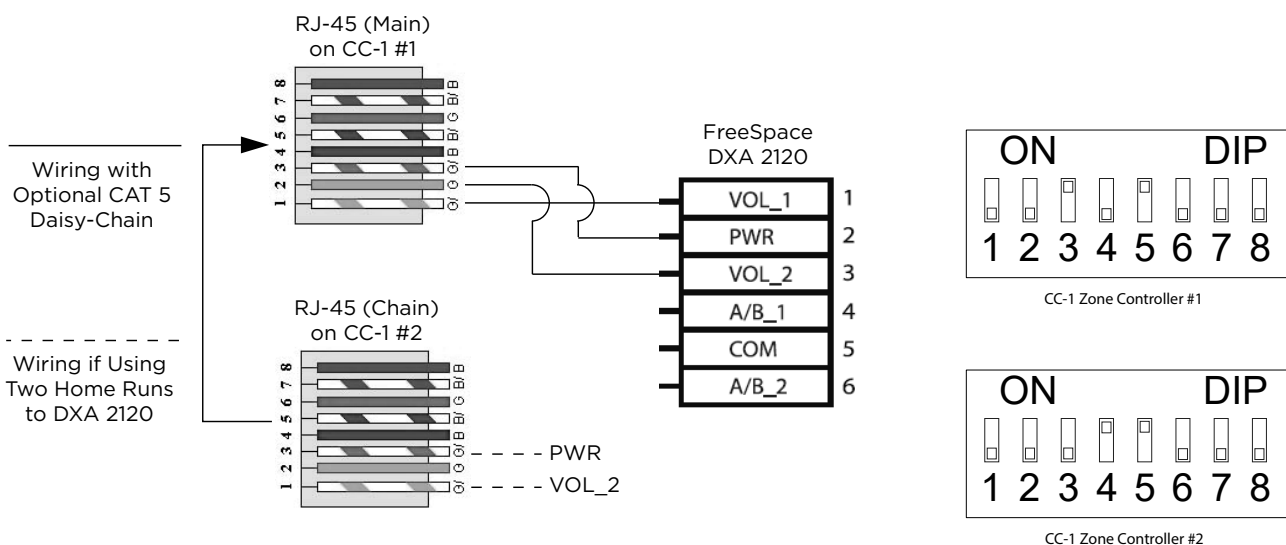
CC-1の接続

| ピン | カラー | FreeSpace DXA 2120 |
|----|--------|--------------------|
| 8 | 茶 | |
| 7 | 白/茶 | |
| 6 | 緑 | |
| 5 | 白/青 | |
| 4 | 青 | |
| 3 | 白/緑 | PWR |
| 2 | オレンジ | VOL_2 |
| 1 | 白/オレンジ | VOL_1 |

1台のCC-1ゾーンコントローラーをFreeSpace® DXA 2120に接続します。DXA 2120のゾーン2で1台のCC-1を使用するには、VOL_2に接続します。DIPスイッチ設定は同じです。



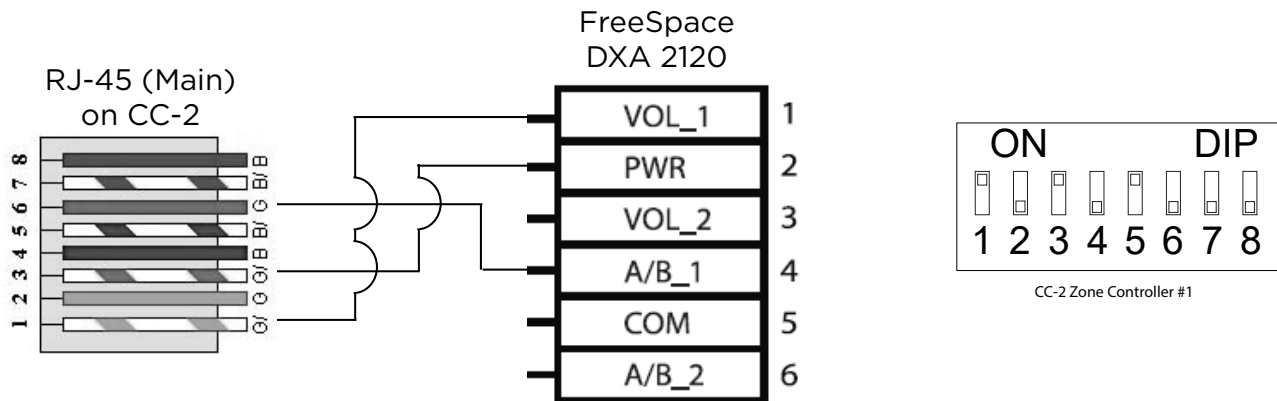
2台のグループ化されたCC-1ゾーンコントローラーをFreeSpace® DXA 2120に接続します。



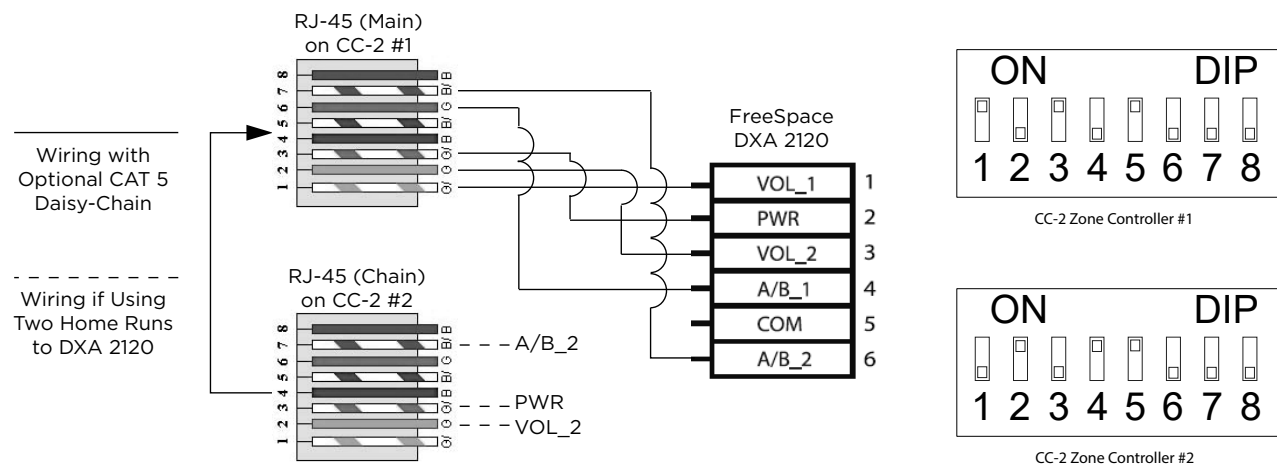
CC-2の接続

| ピン | カラー | FreeSpace DXA 2120 |
|----|--------|--------------------|
| 8 | 茶 | |
| 7 | 白/茶 | A/B_2 |
| 6 | 緑 | A/B_1 |
| 5 | 白/青 | |
| 4 | 青 | |
| 3 | 白/緑 | PWR |
| 2 | オレンジ | VOL_2 |
| 1 | 白/オレンジ | VOL_1 |

1台のCC-2ゾーンコントローラーをFreeSpace® DXA 2120に接続します。ゾーン2で1つのCC-2を使用するには、VOL_2とA/B_2に接続します。DIPスイッチ設定は同じです。

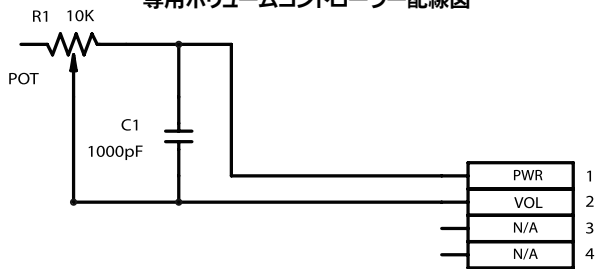


2台のグループ化されたCC-2ゾーンコントローラーをFreeSpace® DXA 2120に接続します。

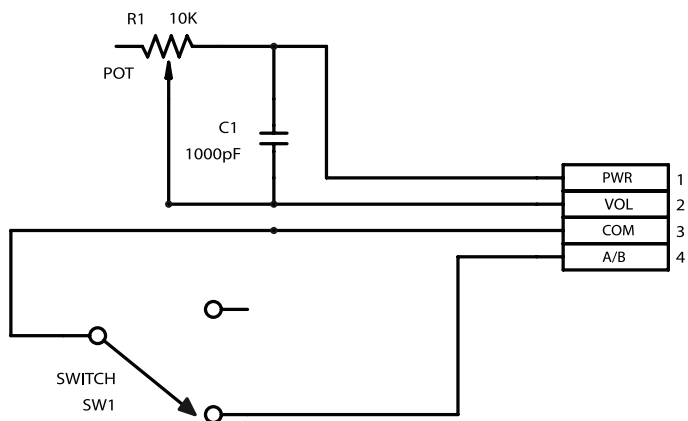


ユーザーインターフェース配線図:

専用ボリュームコントローラー配線図



入力切替機能付専用ボリュームコントローラー配線図

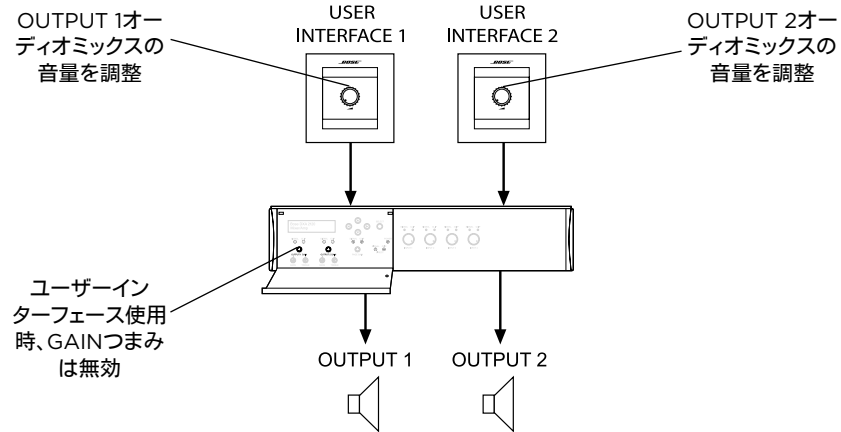


各モードのユーザーインターフェース要件

- ミキサーモード:**
両方またはどちらかの出力にソースをルーティングできます。オプションで、1つまたは2つのボリュームコントローラーを使用できます。ユーザーインターフェースなしでも使用できます。
- ステレオセレクトモード:**
ソースのルーティングは固定です。1ゾーンで1つのユーザーインターフェースを使用できます。入力切替機能付専用ボリュームコントローラーを使用します。
- デュアルモノセレクトモード:**
ソースのルーティングは固定です。各出力チャンネルに1つのユーザーインターフェースを使用できます。2台の入力切替機能付専用ボリュームコントローラーを使用します。

ミキサーモードでユーザーインターフェースを使用

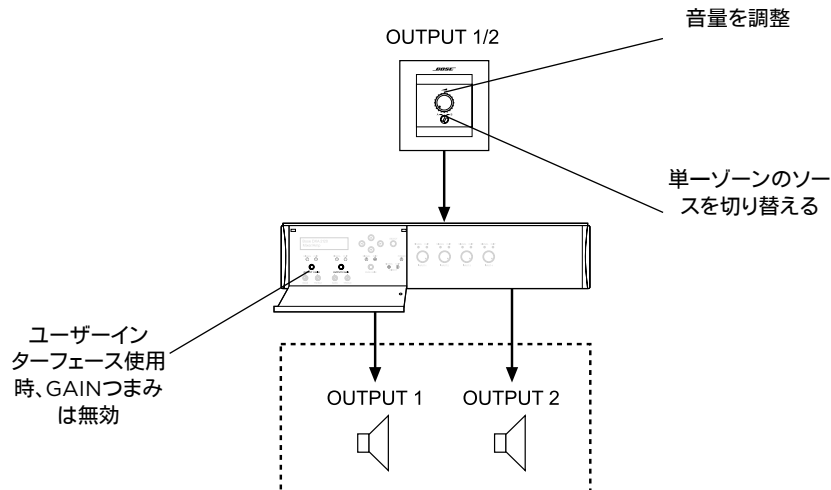
図21.ボリュームコントローラーを使用したミキサーモード



注: OUTPUT 1のゲインをマスターボリュームとして設定し、MASTERVOL LINKEDメニューオプションを使用して、OUTPUT 1とOUTPUT 2のゲインを同時に調整できます。

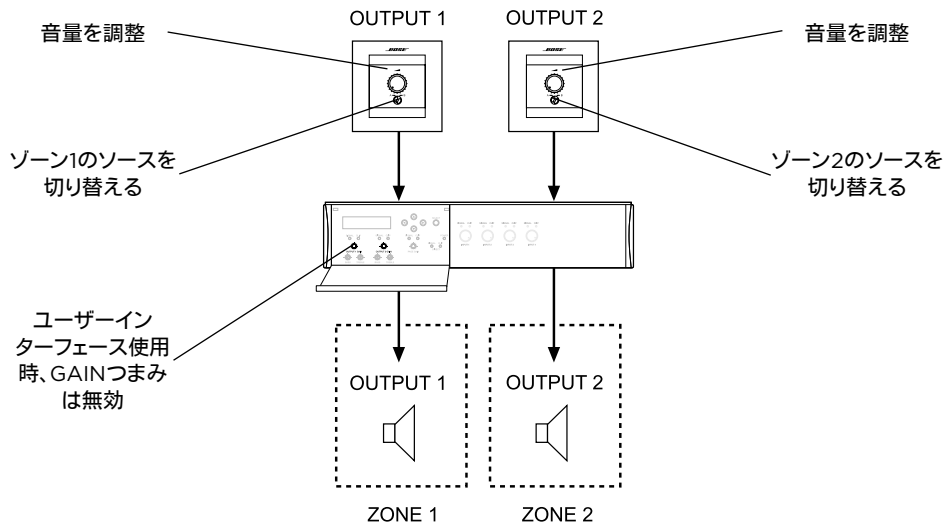
ステレオセレクトモードでユーザーインターフェースを使用

図22.ボリュームコントローラーを使用したステレオセレクトモード




デュアルモノセレクトモードでボリュームコントローラーを使用

図23.ボリュームコントローラーを使用したデュアルモノセレクトモード



システム配線

入出力の配線に関する説明と図を次に示します。

 **警告:** 接続をする前に、必ず本体のAC電源接続を外してください。

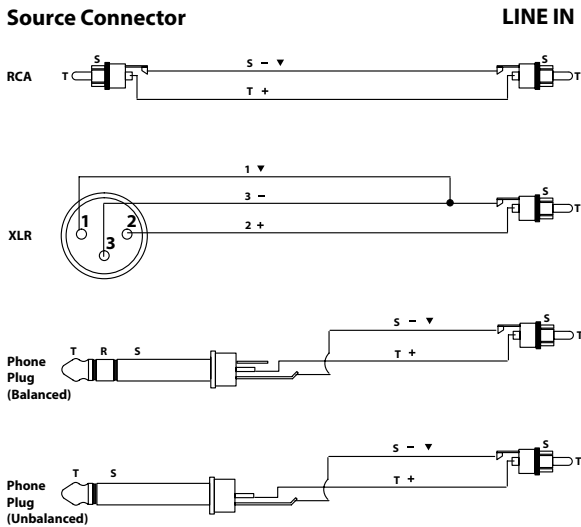
LINE 1~4ソース入力

接続タイプに応じて、2組のライン入力ジャックが用意されています。

RCA接続

次のいずれかのタイプのケーブルを使用して、LINE INPUT 1~4のRCAジャックに音源を接続できます。

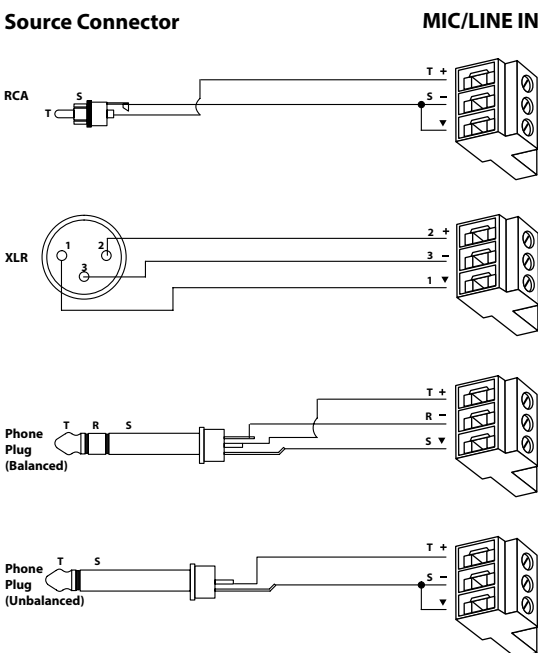
図24.RCA接続のケーブルタイプ



ユーロブロック接続

次のいずれかのタイプのケーブルを使用して、マイクやその他のバランス音源をMIC/LINE INPUT 1~4のユーロブロック端子に接続できます。

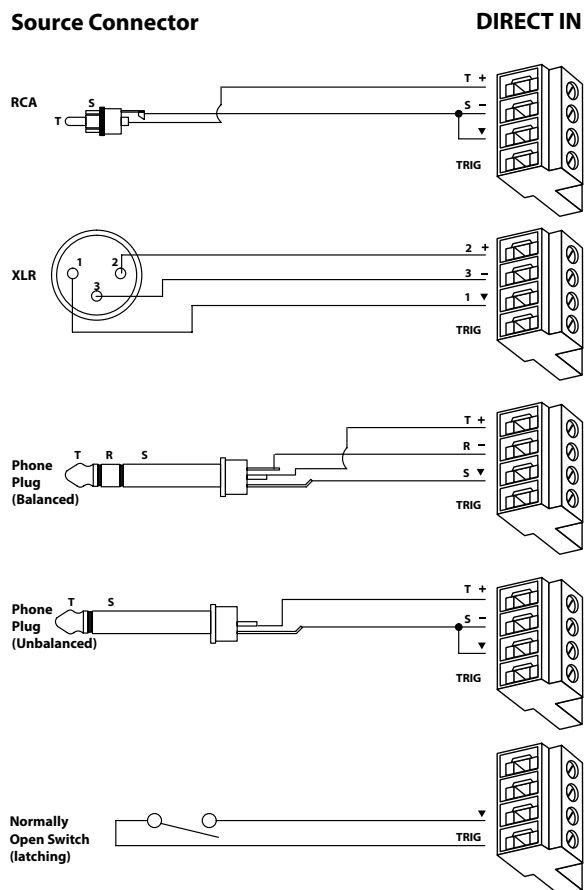
図25.ユーロブロック接続のケーブルタイプ



DIRECTソース入力

次のいずれかのタイプのケーブルを使用して、マイクやその他の音源をDIRECT INPUTジャックに接続できます。
コントロール入力には、ノーマリーオープンスイッチが必要です。

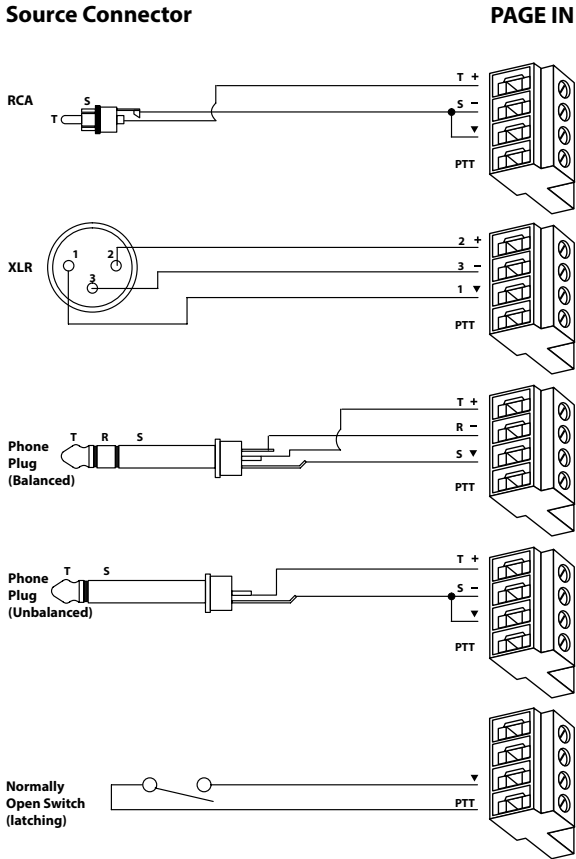
図26.DIRECT INPUTのケーブルタイプ



PAGEソース入力

次のいずれかのタイプのケーブルを使用して、マイクやその他のページングソースをPAGE INPUTジャックに接続できます。

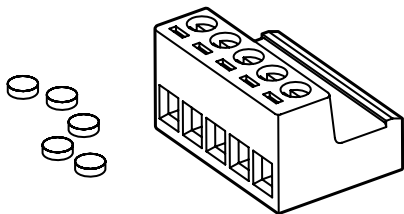
図27.PAGE INPUTのケーブルタイプ



OUTPUT接続

付属の5ピンコネクタを使用して、スピーカーをミキサー／アンプ背面のOUTPUTジャックに接続します。

図28.5ピンコネクタと端子キャップ



スピーカーケーブルを必要な電圧タイプに応じて適切な端子に差し込みます(図25を参照)。

ネジを締めてケーブルを固定し、それぞれのネジ穴を端子キャップで覆います。これにより、感電の原因となるネジとの接触を防止します。

警告: ⚡ のマークが付いた端子は危険な活線です。これらの端子に外部ケーブルを接続する場合は、適切な資格のある担当者が行ってください。

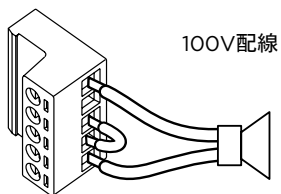
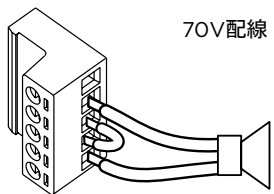
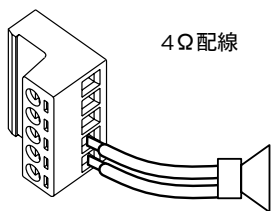
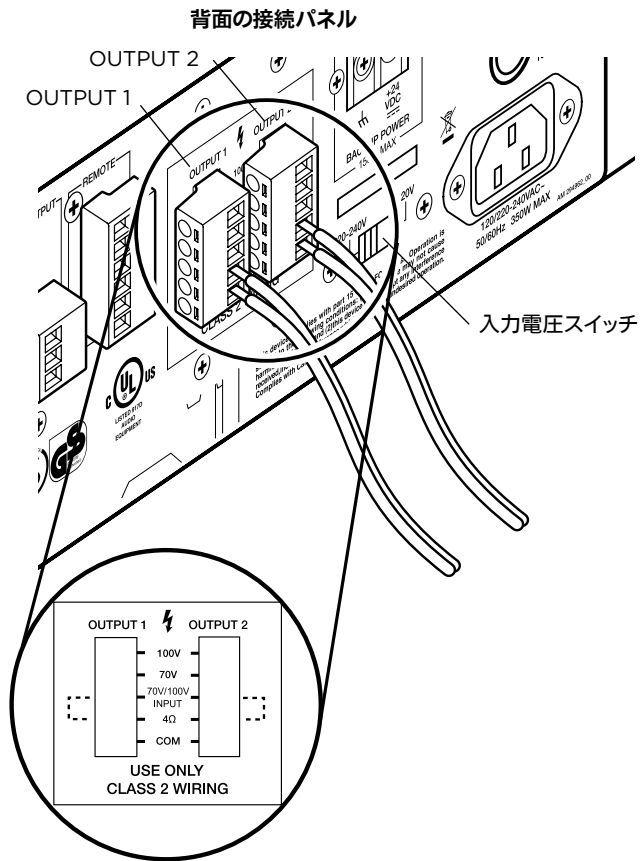
警告: ⚡ のマークの端子は、その金属部分に触れることができないように、スピーカーに接続する必要があります。

次の図に従って、5ピンコネクタをミキサー／アンプ背面のOUTPUTジャックに接続します。

4Ω、70V/100V用に正しい配線をしてください。70V/100Vの配線では、図のようにジャンパーケーブルを使用する必要があります。

注: ジャンパーには、12 AWG (4 mm²) ~ 20 AWG (0.5 mm²) ゲージのケーブルを使用してください。

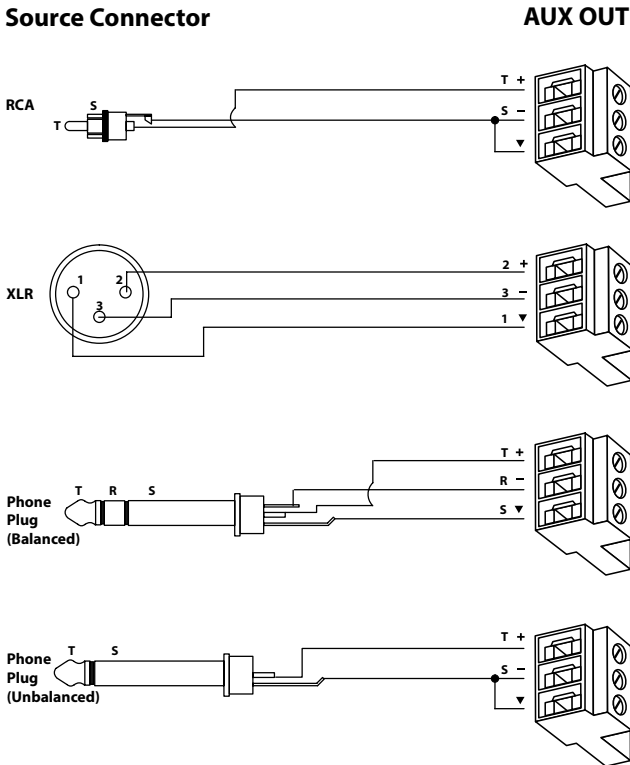
図29.背面の接続パネルの5ピンコネクタ



AUX出力接続

ラインレベルAUX OUTPUTジャックを使用して、4系統いずれかの入力からの信号と適用されるプロセッシングを出力することができます。この出力はシステムの別のアンプやその他の機器に送ることが可能です。

図30.AUX OUTPUTのケーブルタイプ



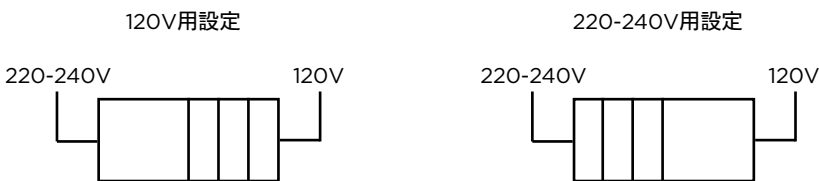
AC電源接続

入力電圧設定(120V/220-240V)

本体背面の接続パネルには、120Vまたは220-240V用の入力電圧スイッチがあります。100V用の製品には、入力電圧スイッチはありません。

設定の変更は必要な場合だけ行ってください。

スイッチ設定が該当地域の電力標準に適していることを確認してください。



警告: 背面の接続パネルの入力電圧を変更する前に、必ず本体のAC電源接続を外してください。

ヒューズタイプ

ヒューズボックスに適切な付属のヒューズが取り付けられていることを確認してください。必要に応じて、適切なタイプのヒューズに交換してください。120V時は、T6.3AL/250Vヒューズを使用します。220V-240V時は、T3.15AL/250Vヒューズを使用します。

AC電源接続

該当地域の電圧に対応した電源コードを差し込みます。

DC電源接続

本機では、電源に障害が起きた場合に備え、+24V DCバッテリーバックアップ電源が使用できます。このバックアップ電源は出力が制限されるので、出力レベルが大きく低下します。

システムセットアップ

このセクションでは、使用状況に合わせてシステム設定を調整する方法を説明します。設定を行うには、システムを電源に接続し、電源スイッチをONにする必要があります。

図31.背面の接続パネル

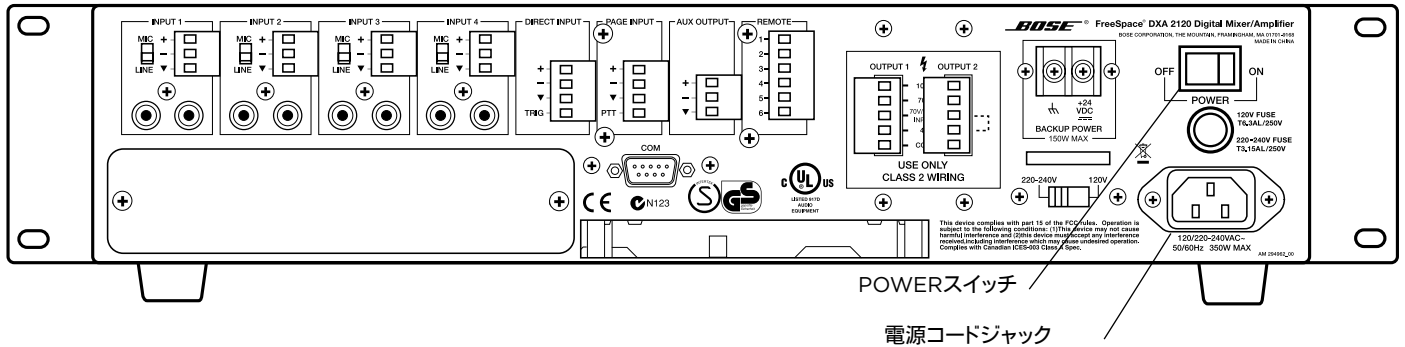
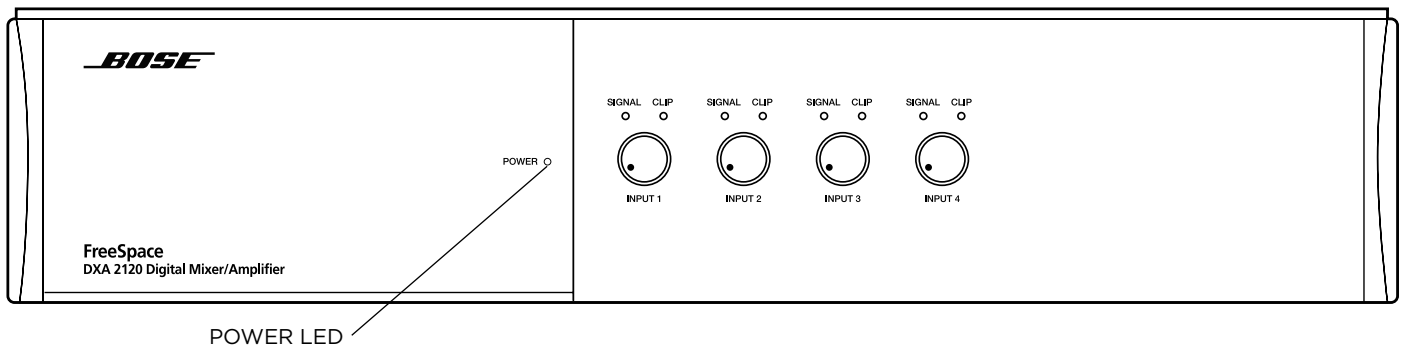


図32.フロントコントロールパネル(カバー閉)

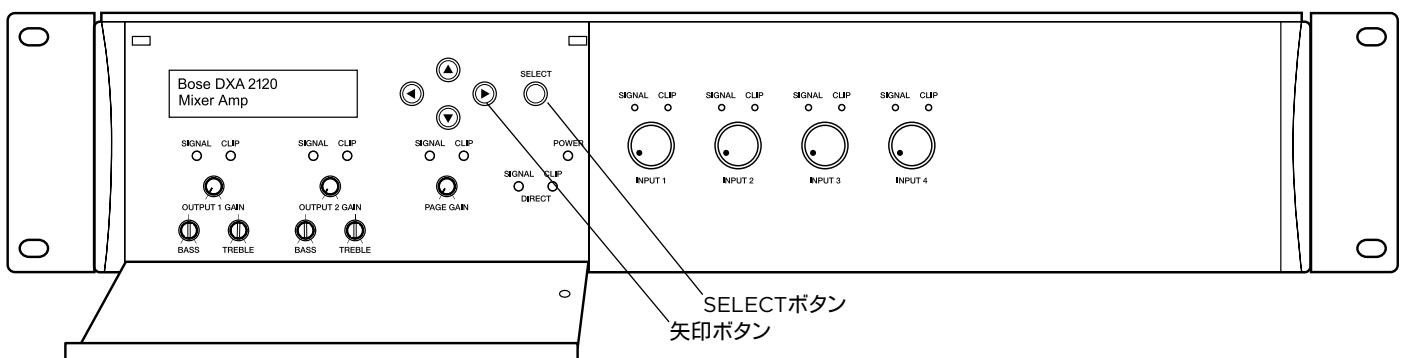


注: システムの電源接続を外した場合や、電源が失われた場合も、システム設定はフラッシュメモリーに保持されます。ただし、電源がない場合に操作を続けるには、オプションのバックアップ電源を使用する必要があります。

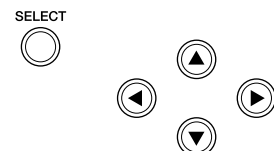
システムセットアップ手順

本体の電源を入れると、POWER LEDが点灯します。フロントコントロールパネルのカバーを開くと、LCDとコントロールボタンにアクセスできます。始動時に、LCDディスプレイに製品モデル名が表示されます。

図33.フロントコントロールパネル



- システムがロックされている場合は、左矢印と右矢印の両ボタンを同時に5秒間押し続けます。「Lockout Off」(ロックアウト解除)と表示されます。
- システムのロックを解除すると、システムセットアップオプションに移動できます。
- SELECTボタンは、メニューオプションをアクティブにするときや、新しい設定を確定するときに使用します。
- LCDの右側の矢印ボタンで、メニューを前後や上下に移動します。



動作モードの選択

使用できるメニューは、選択した動作モードによって異なります。右矢印ボタンを押して、モードメニューを表示します。その後、上下の矢印でモードを選択します。

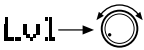



以下のモードから選択します。

- **ミキサーモード:** 最大4系統のマイク/ライン入力をミックスし、2系統の各出力チャンネルに割り当て、1つまたは2つのゾーンで使用するよう設定できます。
- **ステレオセレクトモード:** 最大2系統のステレオ音源を両方の出力チャンネルを使用して、単一の出力ゾーンにステレオサウンドを提供します。
- **デュアルモノセレクトモード:** 2系統の入力ソースを2系統の各出力チャンネルに接続し、オーディオを2つのゾーンに分配します。
- **ユーティリティ:** システムロックアウト、出荷時設定の復元のほか、ファームウェア/EQバージョンの確認ができます。

選択を確定するには、SELECTボタンを押します。選択した項目の左側にアスタリスク(*)が表示されます。

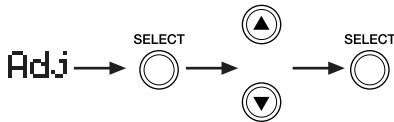
モードのオプション設定

設定はいくつかの方法で変更でき、所定のボタンでそれぞれの設定が行えます。次に例を示します。

- 「**Input Vol Lvl**」(入力音量)の調整は、フロントパネルのつまみだけで行えます。設定された音量はメニューフィールドに表示されますが、メニューでは変更できません。 
- 「**Output Vol Lvl**」(出力音量)は、フロントコントロールパネルの出力ゲインつまみで調整します。 
- 「**Output Bass Lvl**」(出力低音レベル)と「**Output Treb Lvl**」(出力高音レベル)は、フロントコントロールパネルの低音/高音ゲインつまみで調整します。 
- 「**Page Vol Lvl**」(ページング音量)は、フロントコントロールパネルのPAGE GAINつまみで調整します。 

「Adj」(調整)メニューフィールドを変更するには:

1. SELECTを押してフィールドをアクティブにします。
2. 上/下矢印を使用して値を調整します。
3. SELECTを押して設定を確定し、次に進みます。



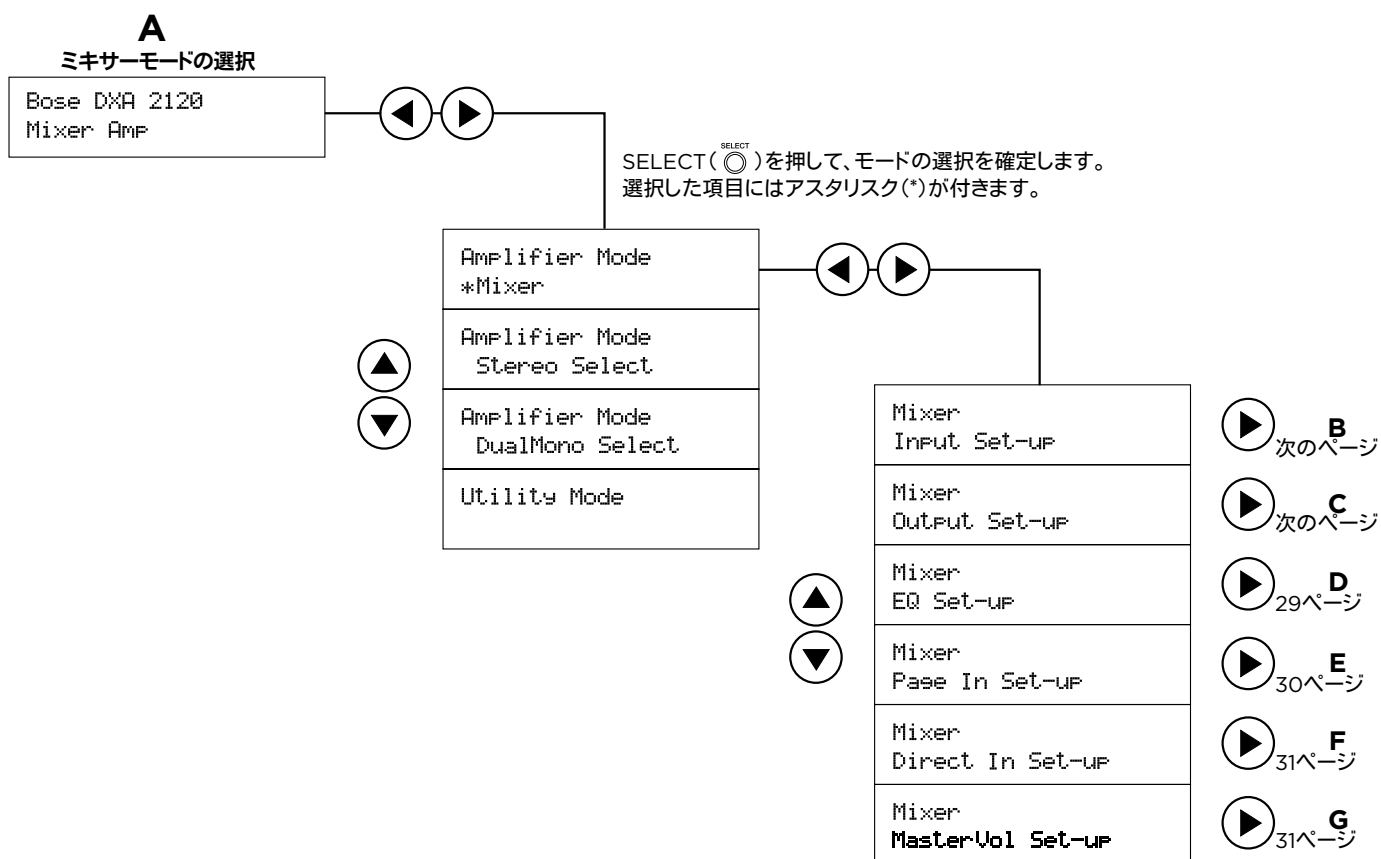
注: 45秒間何もしないと、選択したモードの最初のメニューに自動で戻ります。

ミキサーモード設定

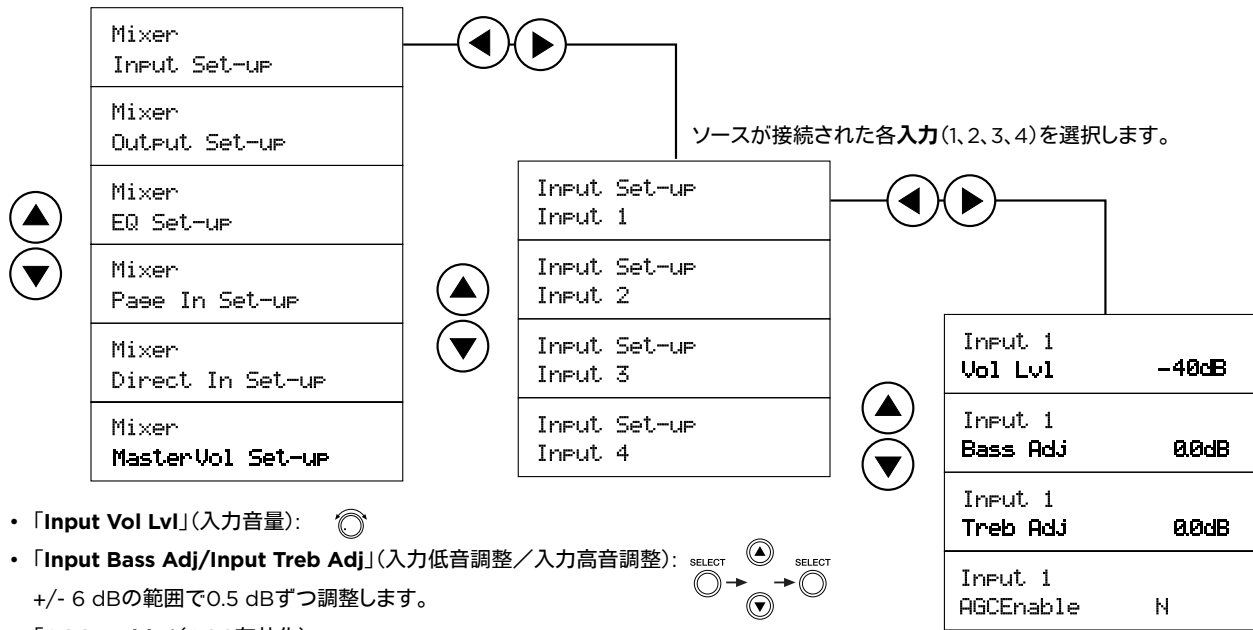
ここでは、ミキサーモードを設定するための一般的な手順の概要を示します。

- A. このモードの選択
- B. 入力の設定
- C. 出力の設定
- D. EQ設定の選択
- E. ページング入力の設定(必要な場合)
- F. ダイレクト入力の設定(必要な場合)
- G. マスターボリュームの設定(必要な場合)

セットアップメニューを右に進むと、図のようなオプションが表示されます。



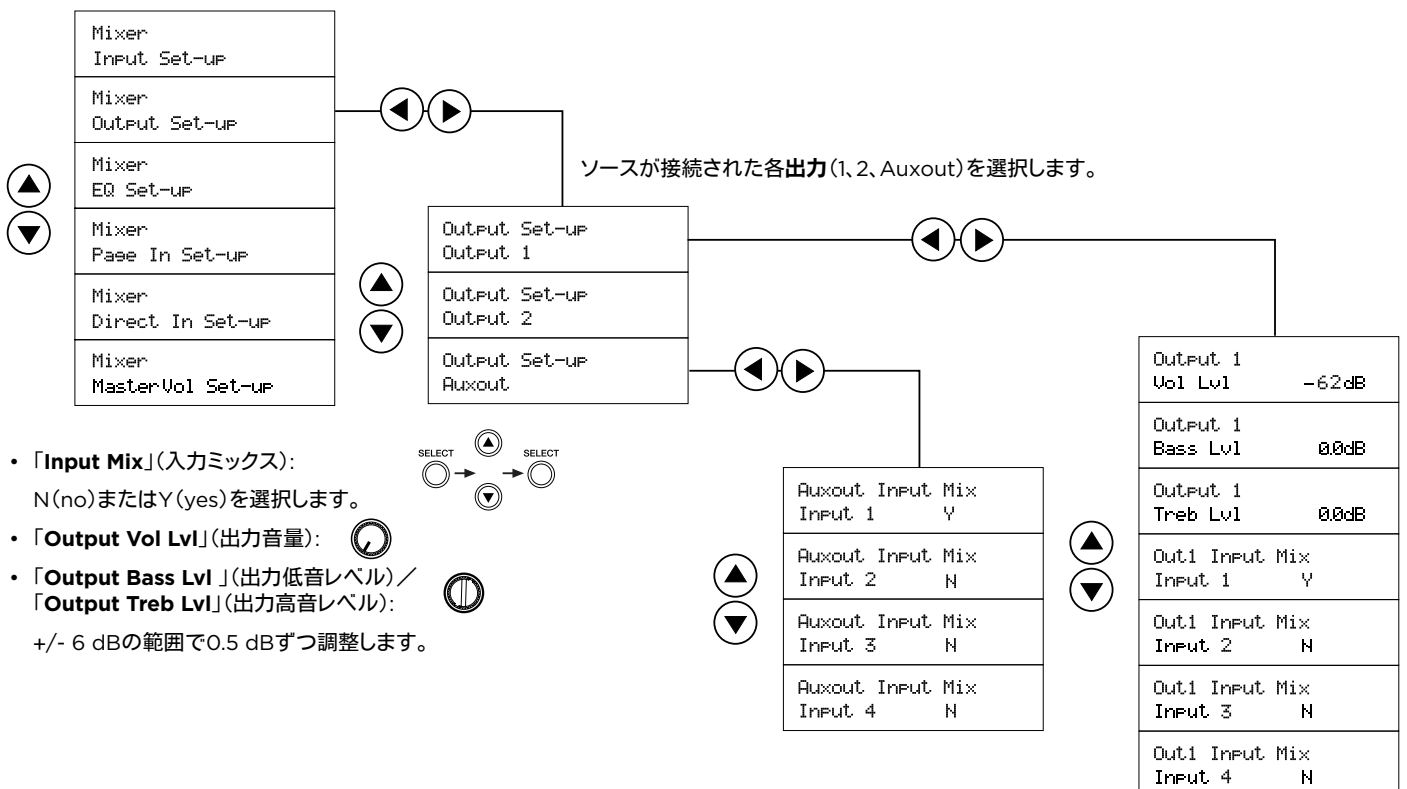
B
ミキサー入力の設定



- 「Input Vol Lvl」(入力音量):
- 「Input Bass Adj/Input Treb Adj」(入力低音調整/入力高音調整): SELECT SELECT
+/- 6 dBの範囲で0.5 dBずつ調整します。
- 「AGCEnable」(AGC有効化): SELECT SELECT
N(no)またはY(yes)を選択します。

注: AGCのデフォルトは「N」です。低レベルのソース(低感度のマイクなど)で使用する場合はAGCが推奨されます。

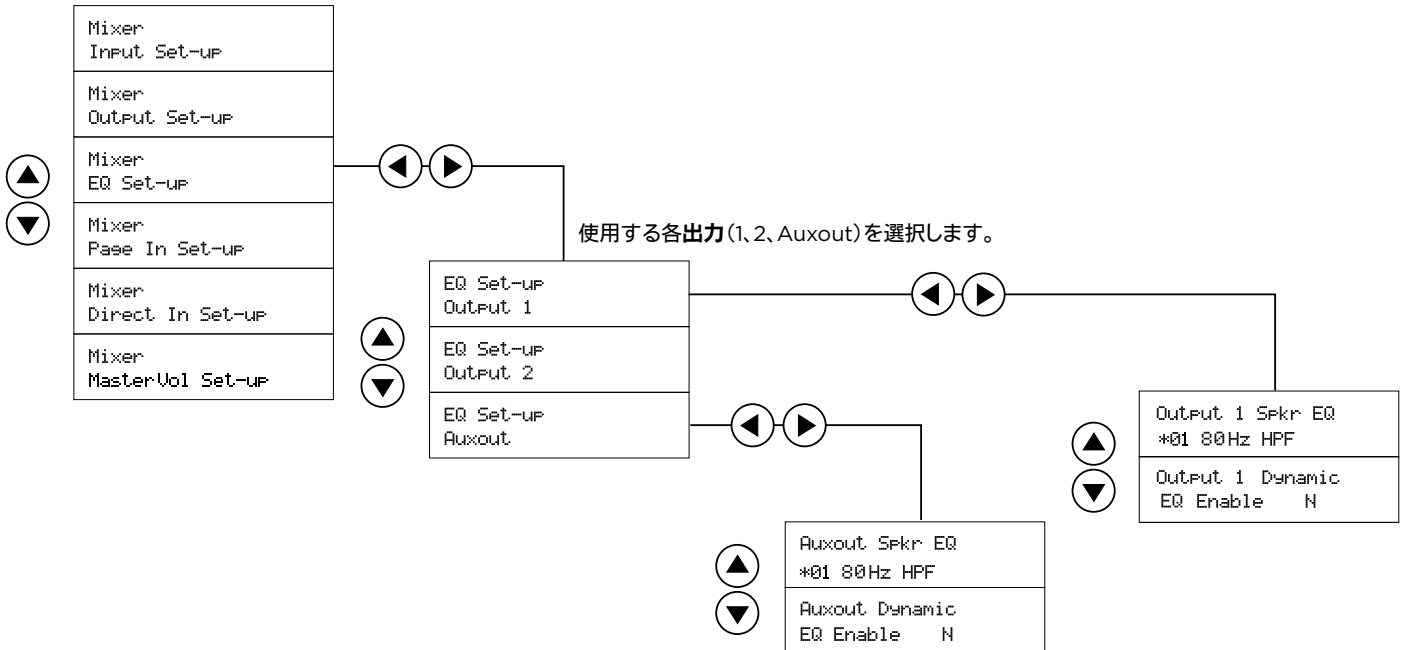
C
ミキサー出力の設定



- 「Input Mix」(入力ミックス): SELECT SELECT
N(no)またはY(yes)を選択します。
- 「Output Vol Lvl」(出力音量):
- 「Output Bass Lvl」(出力低音レベル)/「Output Treb Lvl」(出力高音レベル):
+/- 6 dBの範囲で0.5 dBずつ調整します。

D

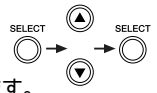
ミキサーEQの設定



- 「Spkr EQ」(スピーカーEQ):

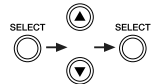
上/下矢印でEQ設定を選択します。

選択した項目にはアスタリスク(*)が付きます。



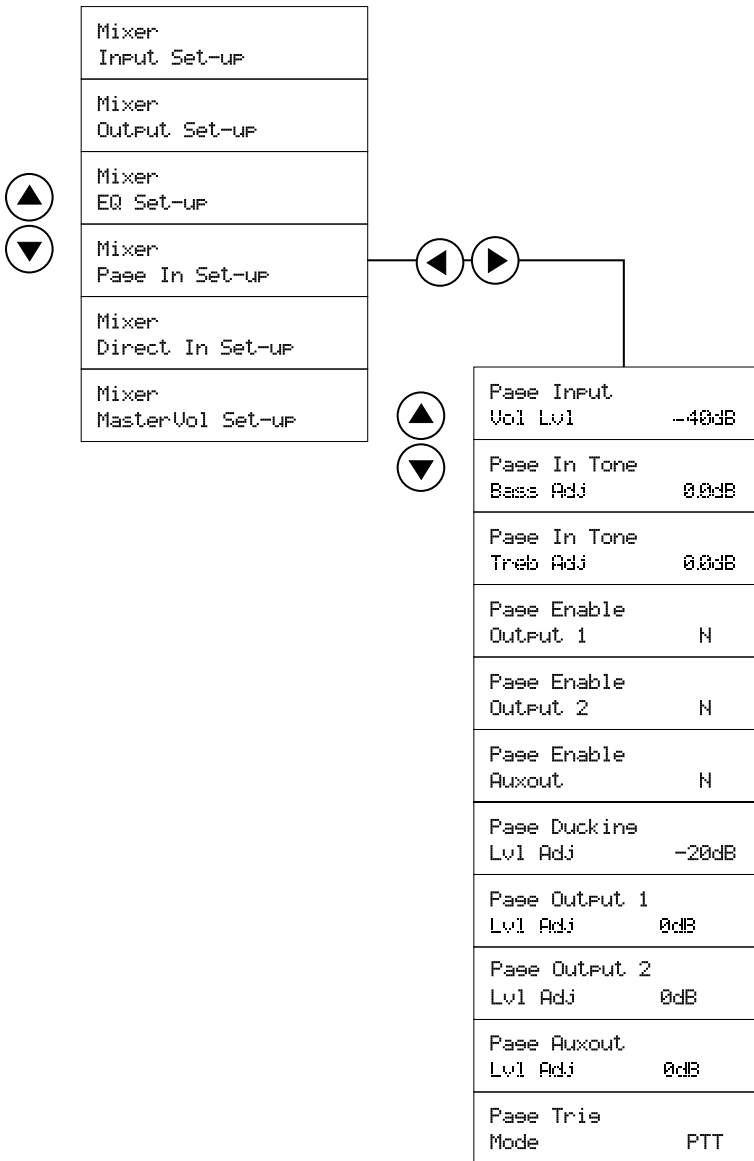
- 「Dynamic EQ Enable」(ダイナミックEQ有効化):


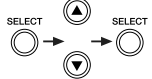
N(no)またはY(yes)を選択します。

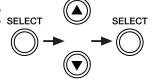


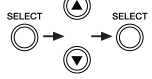
注: ダイナミックEQはあらゆる音量レベルで適切な音質を維持します。出力レベルの設定に応じてEQは自動調整されます。

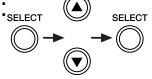
E
ミキサーページング入力の設定



- 「Page Vol Lvl」(ページング音量):  PAGE GAIN
- 「Page Bass Adj」(ページング低音調整)／「Page Treb Adj」(ページング高音調整): 

+/- 6 dBの範囲で0.5 dBずつ調整します。
- 「Page Enable」(ページング有効化): 

N(no)またはY(yes)を選択します。
- 「Page Ducking Lvl Adj」(ページングダッキングレベル調整): 

-50 dB～0 dBの範囲で1 dBずつ調整します。
- 「Output Lvl Adj」(出力レベル調整): 

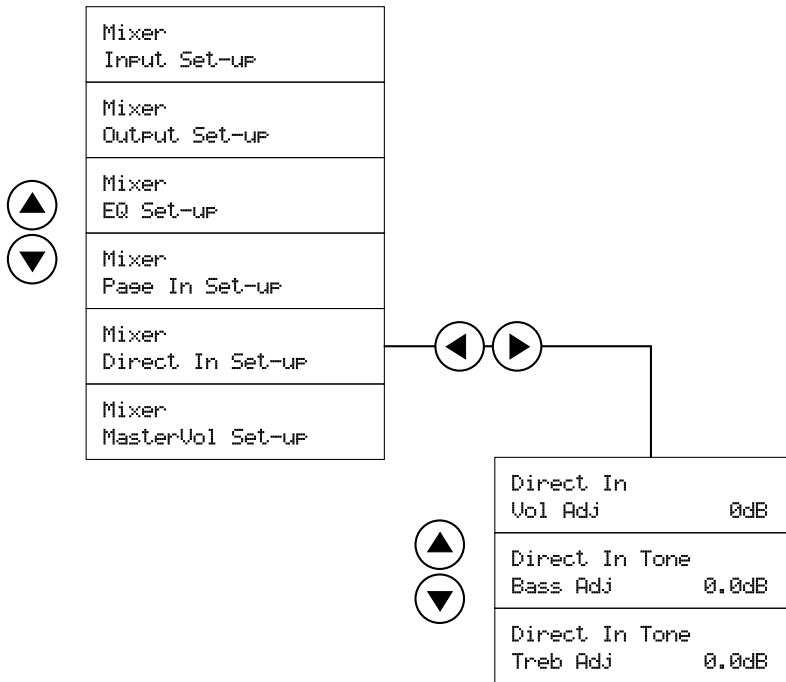
+/- 20 dBの範囲で1 dBずつ調整します。
- 「Page Trig Mode」(ページングトリガーモード):

「PTT」または「Auto」(自動)を選択します。

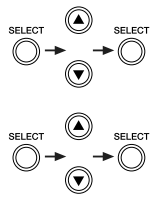
注: ページングトリガーモードでは、プッシュトゥートーク(PTT)式マイクのボタンを押してページング出力をトリガーできます。「Auto」(自動)を選択した場合は、ページング入力で信号が検出されると自動的にページング出力がトリガーされます。

F

ミキサーダイレクト入力の設定

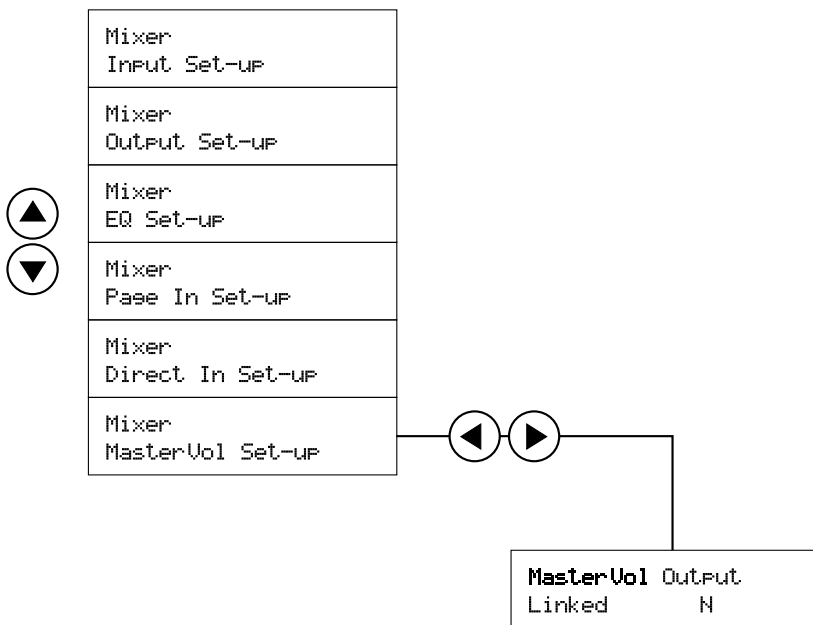


- 「Vol Adj」(音量調節):
-40 dB~+10 dBの範囲で1 dBずつ調整します。
- 「Bass Adj」(低音調整)／「Treb Adj」(高音調整):
+/- 6 dBの範囲で0.5 dBずつ調整します。

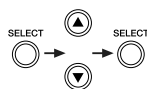


G

ミキサーマスターボリュームの設定



- 「Output Linked」(出力リンク):
N(no)またはY(yes)を選択します。



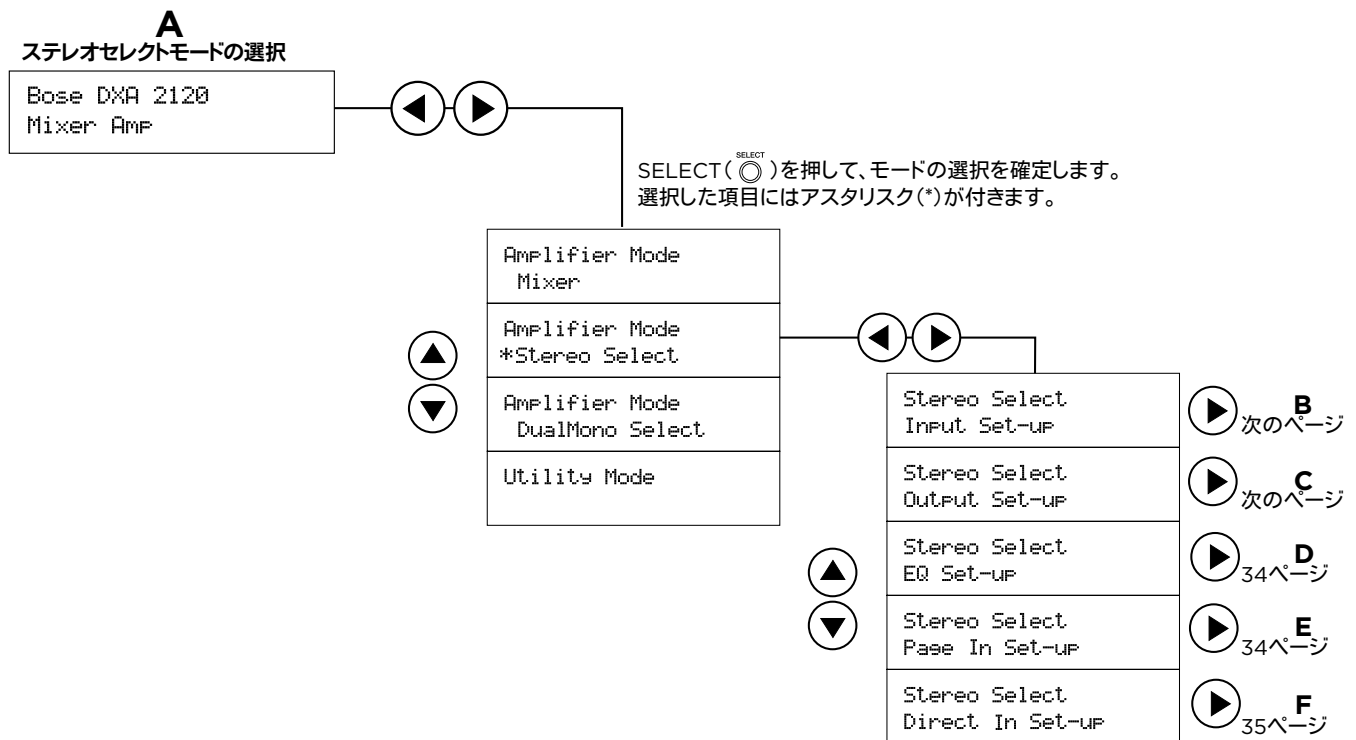
注: 「Y」を選択すると、Output 1とOutput 2のゲインがリンクされ、Output 1ゲインつまみで調整できるようになります。

ステレオセレクトモード設定

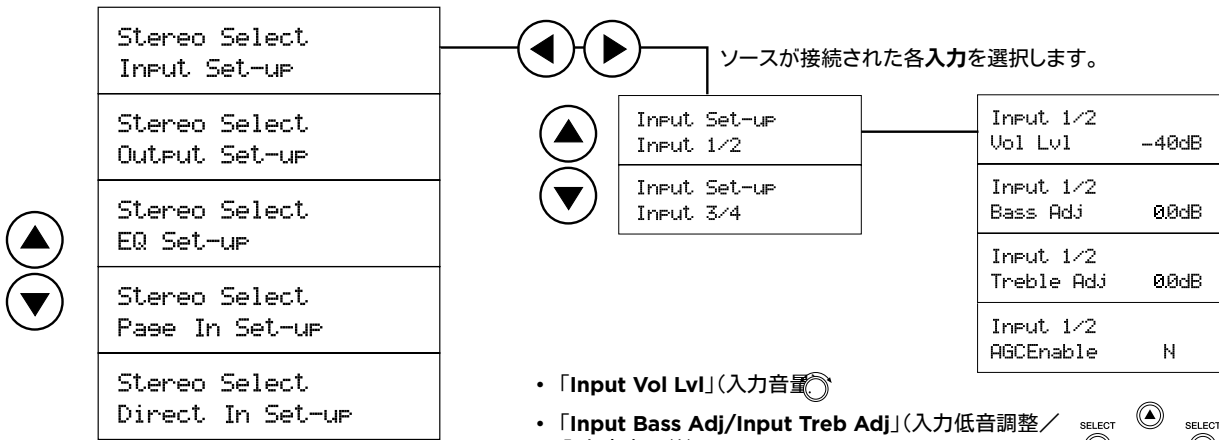
ここでは、ステレオセレクトモードを設定するための一般的な手順の概要を示します。

- A. このモードの選択
- B. 入力の設定
- C. 出力の設定
- D. EQ設定の選択
- E. ページング入力の設定(必要な場合)
- F. ダイレクト入力の設定(必要な場合)

セットアップメニューを右に進むと、図のようなオプションが表示されます。



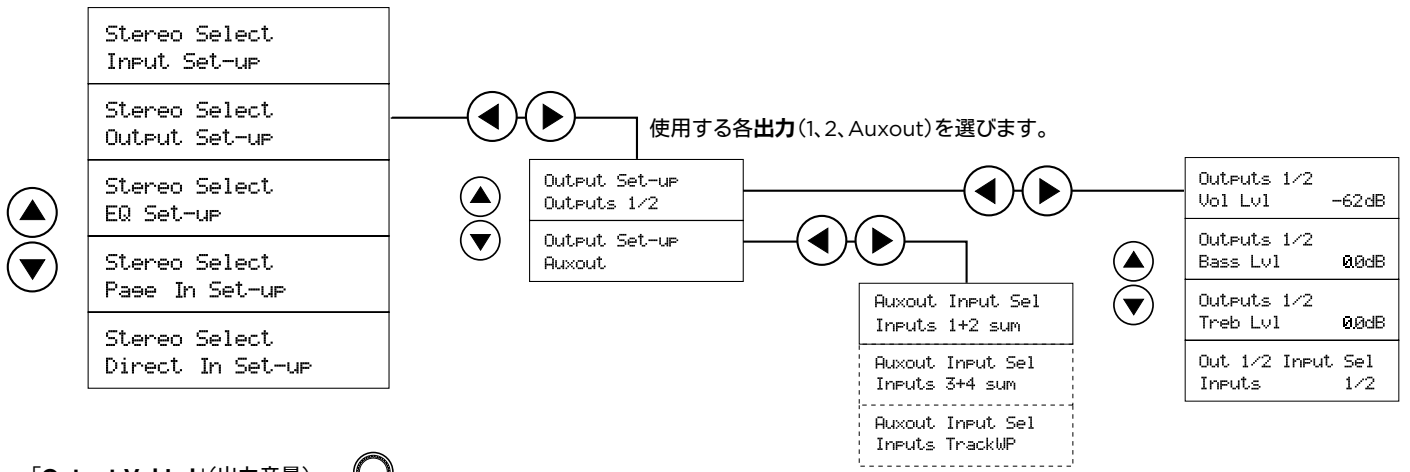
B
ステレオセレクト入力の設定



- 「Input Vol Lvl」(入力音量)
- 「Input Bass Adj/Input Treble Adj」(入力低音調整/入力高音調整):
+/- 6 dBの範囲で0.5 dBずつ調整します。
- 「AGCEnable」(AGC有効化):
N(no)またはY(yes)を選択します。

注: AGCのデフォルトは「N」です。低レベルのソース(低感度のマイクなど)で使用する場合はAGCが推奨されます。

C
ステレオセレクト出力の設定

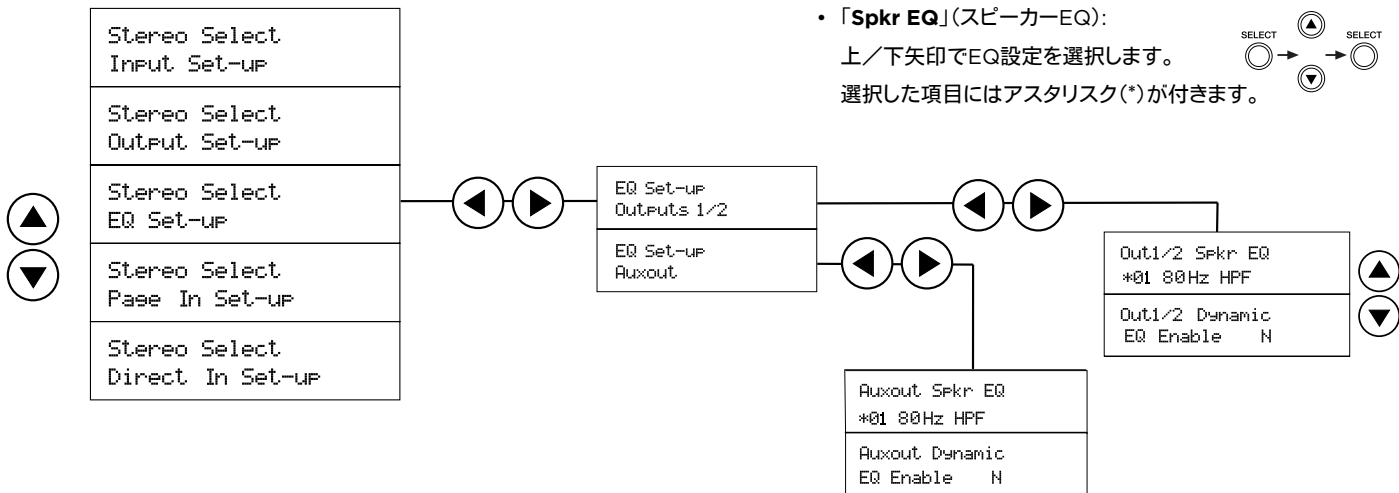


- 「Output Vol Lvl」(出力音量):
- 「Output Bass Lvl」(出力低音レベル) / 「Output Treble Lvl」(出力高音レベル):
+/- 6 dBの範囲で0.5 dBずつ調整します。
- 「Out 1/2 Input Sel」(出力1/2入力選択):
- 「Auxout Input Sel」(Auxout入力選択):
Aux出力にルーティングする入力を選択します。
「Input TrackWP」(入力TrackWP)を選択すると、ボリュームコントローラーの入力切替に応じてトラッキングされます。

注: TrackWPを選択し、ボリュームコントローラーが接続されている場合は、ボリュームコントローラーで選択した入力(A/B)が表示されます。

D

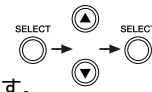
ステレオセレクトEQの設定



• 「Spkr EQ」(スピーカーEQ):

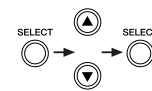
上/下矢印でEQ設定を選択します。

選択した項目にはアスタリスク(*)が付きます。



• 「Dynamic EQ Enable」(ダイナミックEQ有効化):

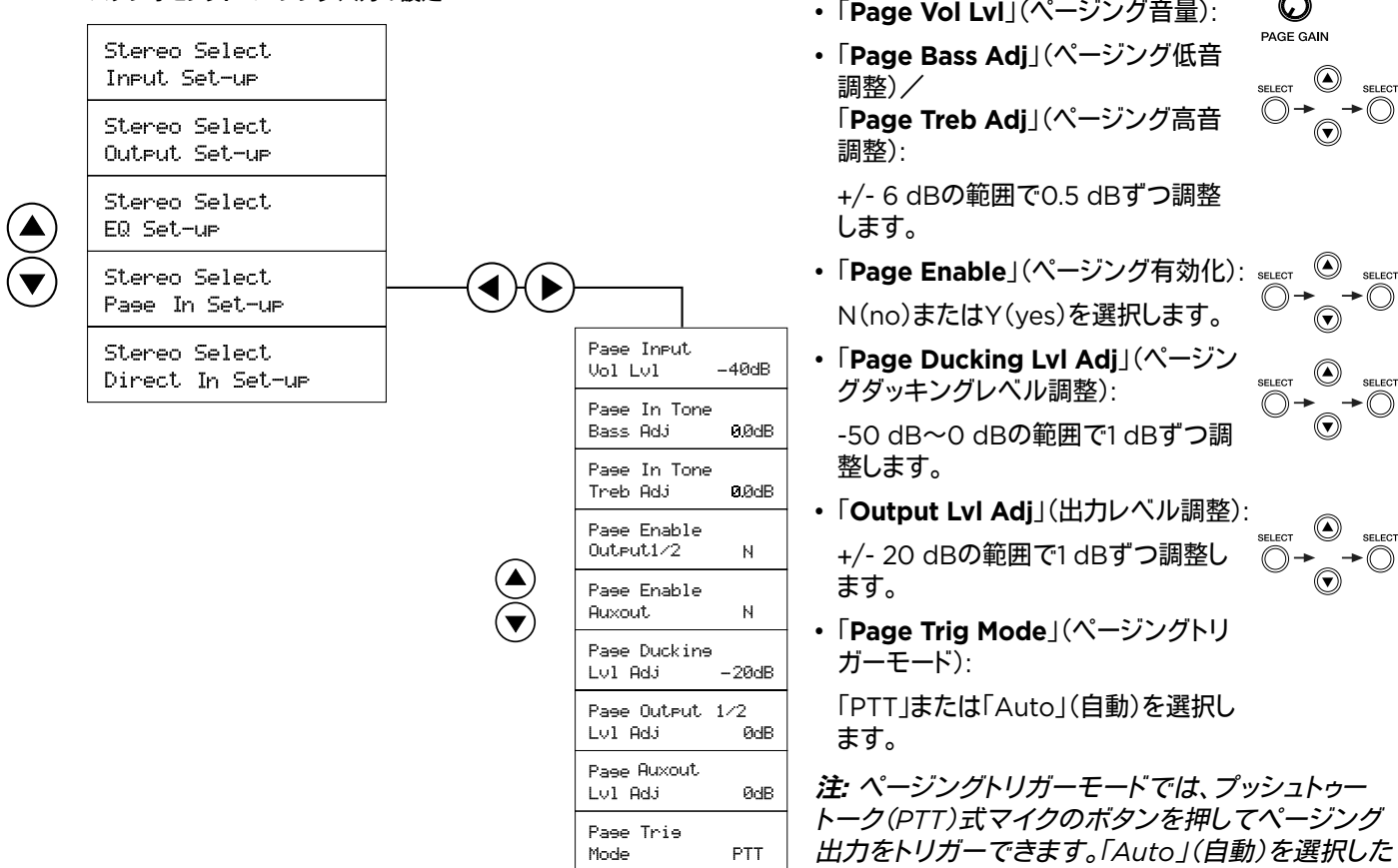
N(no)またはY(yes)を選択します。



注: ダイナミックEQはあらゆる音量レベルで適切な音質を維持します。出力レベルの設定に応じてEQは自動調整されます。

E

ステレオセレクトページング入力の設定



• 「Page Vol Lvl」(ページング音量):

• 「Page Bass Adj」(ページング低音調整) / 「Page Treb Adj」(ページング高音調整):

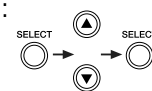
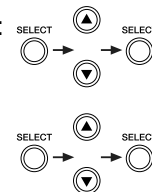
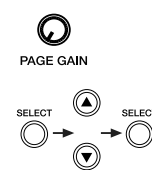
+/- 6 dBの範囲で0.5 dBずつ調整します。

• 「Page Enable」(ページング有効化): N(no)またはY(yes)を選択します。

• 「Page Ducking Lvl Adj」(ページングダッキングレベル調整): -50 dB~0 dBの範囲で1 dBずつ調整します。

• 「Output Lvl Adj」(出力レベル調整): +/- 20 dBの範囲で1 dBずつ調整します。

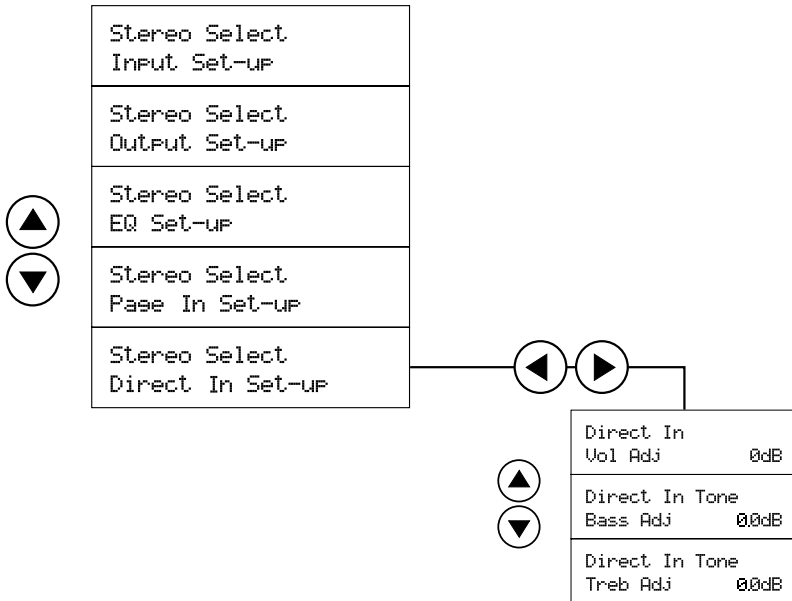
• 「Page Trig Mode」(ページングトリガーモード): 「PTT」または「Auto」(自動)を選択します。



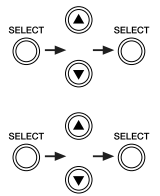
注: ページングトリガーモードでは、プッシュトゥーク(PTT)式マイクのボタンを押してページング出力をトリガーできます。「Auto」(自動)を選択した場合は、ページング入力で信号が検出されると自動的にページング出力がトリガーされます。

F

ステレオセレクトダイレクト入力の設定



- 「Vol Adj」(音量調節):
-40 dB~+10 dBの範囲で1 dBずつ調整します。
- 「Bass Adj」(低音調整)／「Treb Adj」(高音調整):
+/- 6 dBの範囲で0.5 dBずつ調整します。

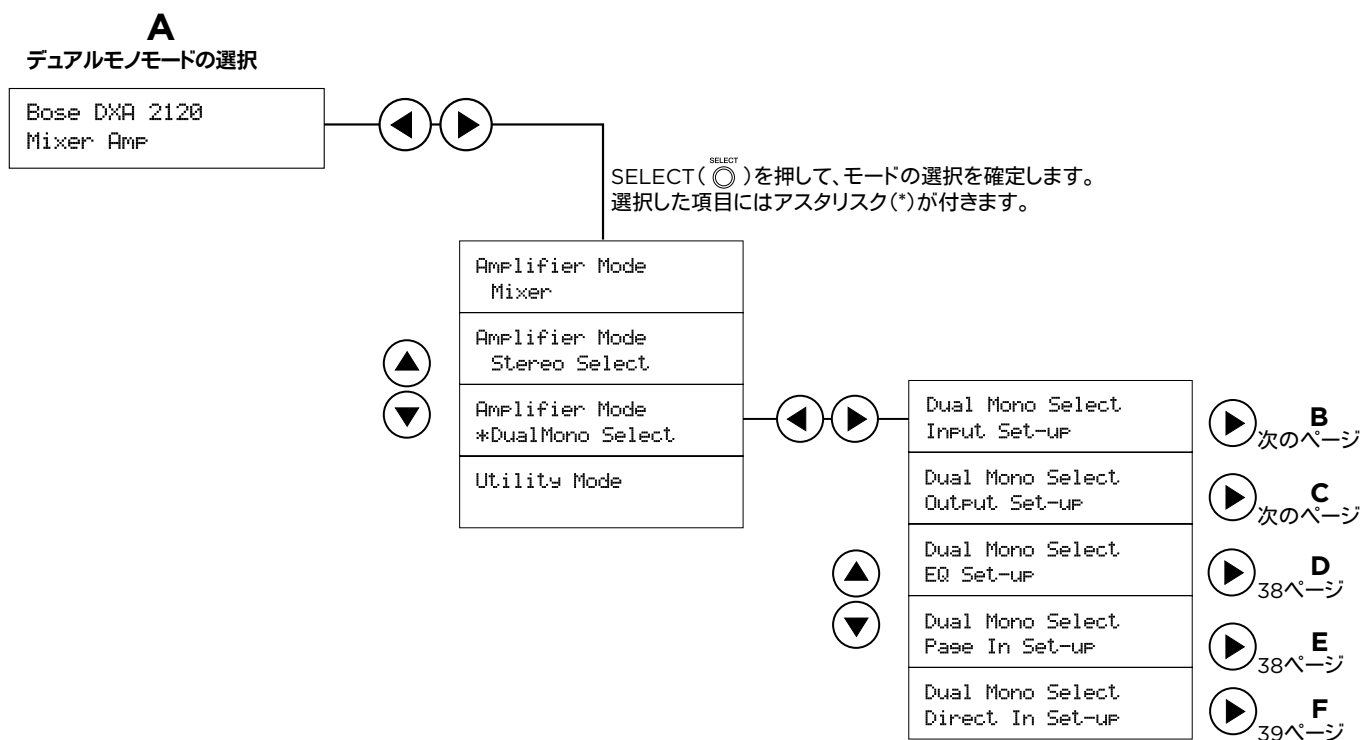


デュアルモノセレクトモード設定

ここでは、デュアルモノセレクトモードを設定するための一般的な手順の概要を示します。

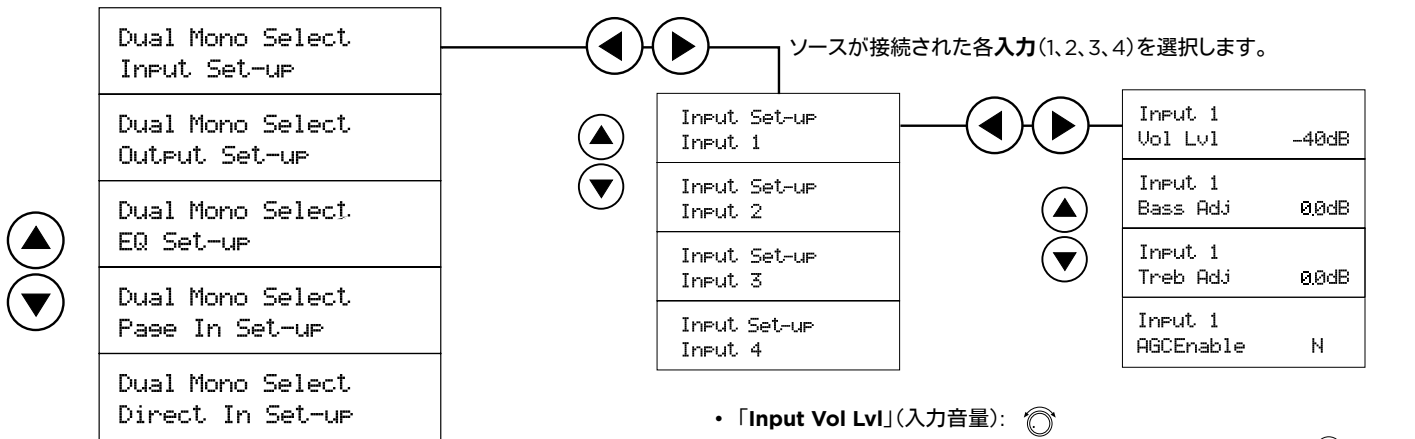
- A. このモードの選択
- B. 入力の設定
- C. 出力の設定
- D. EQ設定の選択
- E. ページング入力の設定(必要な場合)
- F. ダイレクト入力の設定(必要な場合)

セットアップメニューを右に進むと、図のようなオプションが表示されます。



B

デュアルモノセレクト入力の設定

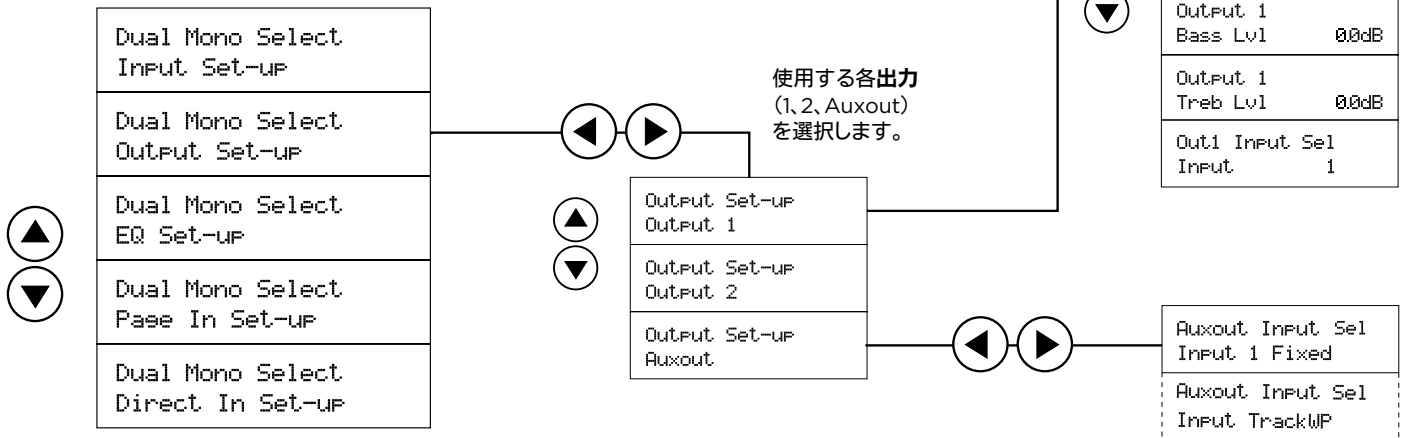


- 「Input Vol Lvl」(入力音量):
- 「Input Bass Adj/Input Treb Adj」(入力低音調整 / 入力高音調整):
 - +/- 6 dBの範囲で0.5 dBずつ調整します。
- 「AGC Enable」(AGC有効化):
 - N(no)またはY(yes)を選択します。

注: AGCのデフォルトは「N」です。低レベルのソース(低感度のマイクなど)で使用する場合はAGCが推奨されます。

C

デュアルモノセレクト出力の設定

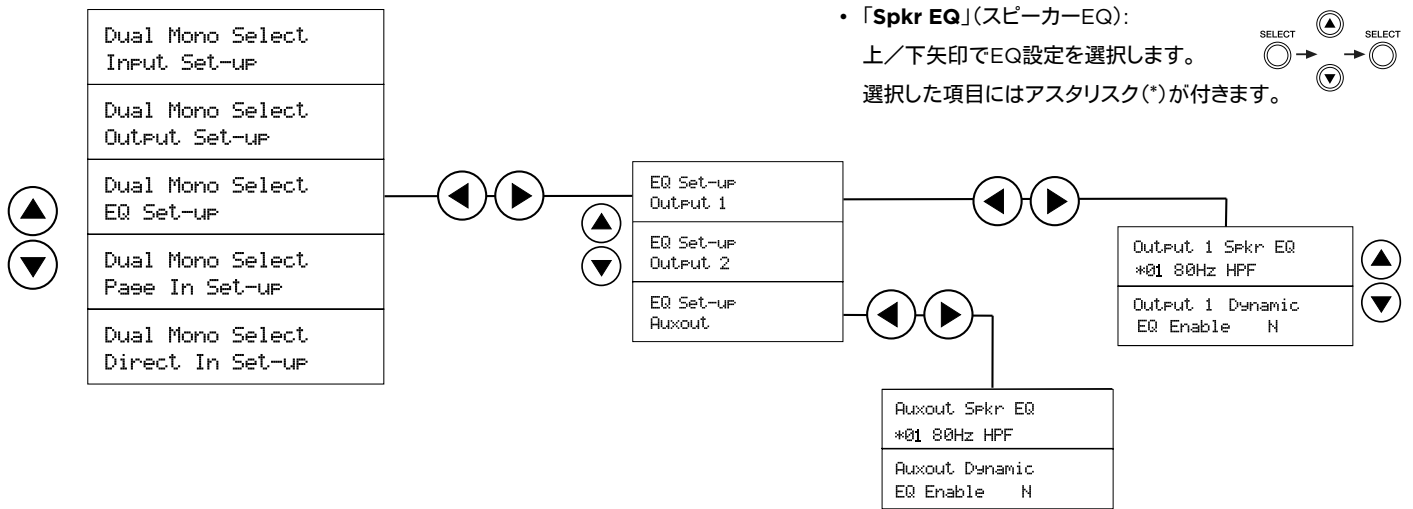


- 「Output Vol Lvl」(出力音量):
- 「Output Bass Lvl」(出力低音レベル) / 「Output Treb Lvl」(出力高音レベル):
 - +/- 6 dBの範囲で0.5 dBずつ調整します。
- 「Out 1/2 Input Sel」(出力1/2入力選択):
- 「Auxout Input Sel」(Auxout入力選択):
 - Aux出力にルーティングする入力を選択します。
 - 「Input Track WP」(入力Track WP)を選択すると、ボリュームコントローラーの入力切替に応じてトラッキングされます。

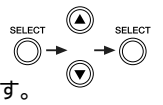
注: Track WPを選択し、ボリュームコントローラーが接続されている場合は、ボリュームコントローラーで選択した入力(A/B)が表示されます。

D

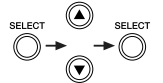
デュアルモノセレクトEQの設定



• 「Spkr EQ」(スピーカーEQ):
上/下矢印でEQ設定を選択します。
選択した項目にはアスタリスク(*)が付きます。



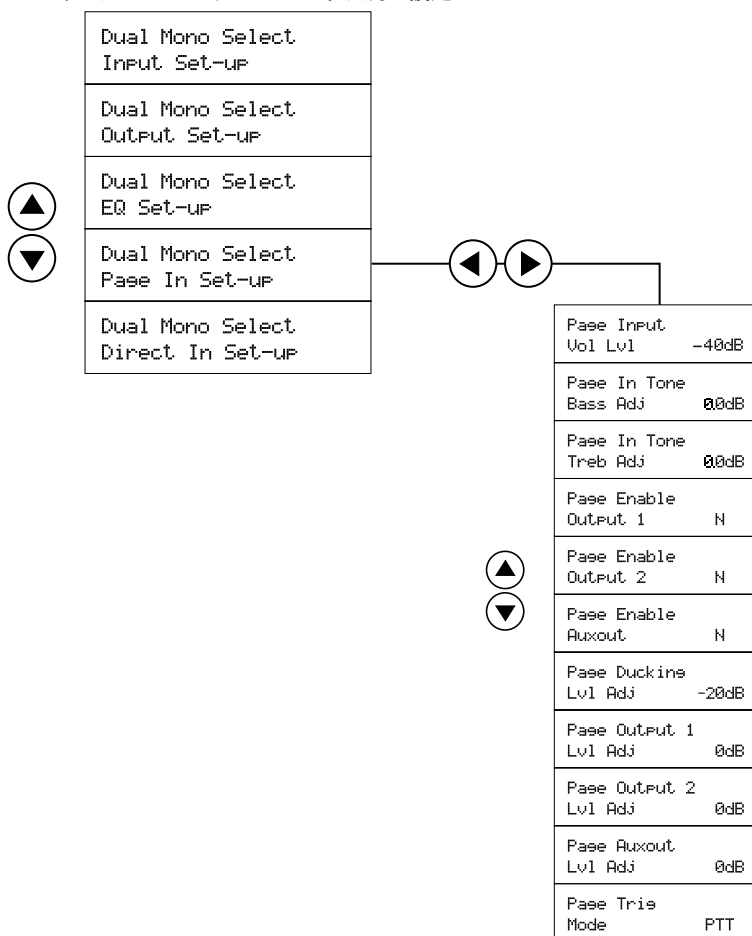
• 「Dynamic EQ Enable」(ダイナミックEQ 有効化):
N(no)またはY(yes)を選択します。



注: ダイナミックEQはあらゆる音量レベルで適切な音質を維持します。出力レベルの設定に応じてEQは自動調整されます。

E

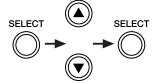
デュアルモノセレクトページング入力の設定



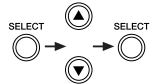
• 「Page Vol Lvl」(ページング音量):



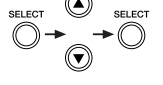
• 「Page Bass Adj」(ページング低音調整) / 「Page Treb Adj」(ページング高音調整):
+/- 6 dBの範囲で0.5 dBずつ調整します。



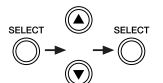
• 「Page Enable」(ページング有効化):
N(no)またはY(yes)を選択します。



• 「Page Ducking Lvl Adj」(ページングダッキングレベル調整):
-50 dB ~ 0 dBの範囲で1 dBずつ調整します。



• 「Output Lvl Adj」(出力レベル調整):
+/- 20 dBの範囲で1 dBずつ調整します。

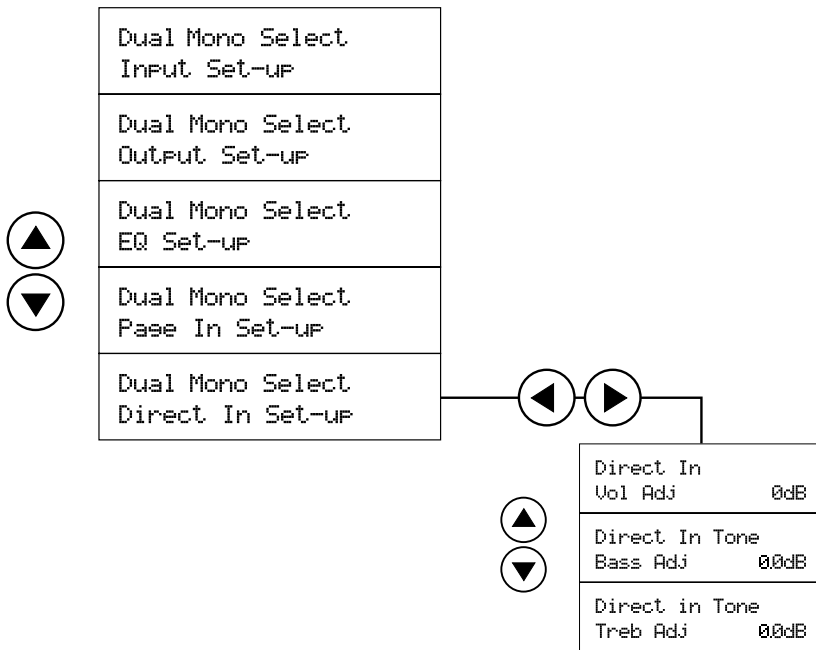


• 「Page Trig Mode」(ページングトリガーモード):
「PTT」または「Auto」(自動)を選択します。

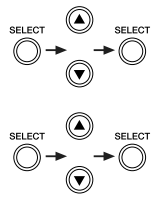
注: ページングトリガーモードでは、プッシュトゥーク(PTT)式マイクのボタンを押してページング出力をトリガーできます。「Auto」(自動)を選択した場合は、ページング入力で信号が検出されると自動的にページング出力がトリガーされます。

F

デュアルモノセレクトダイレクト入力の設定



- 「Vol Adj」(音量調節):
-40 dB~+10 dBの範囲で1 dBずつ調整します。
- 「Bass Adj」(低音調整)／「Treb Adj」(高音調整):
+/- 6 dBの範囲で0.5 dBずつ調整します。



ユーティリティモード設定について

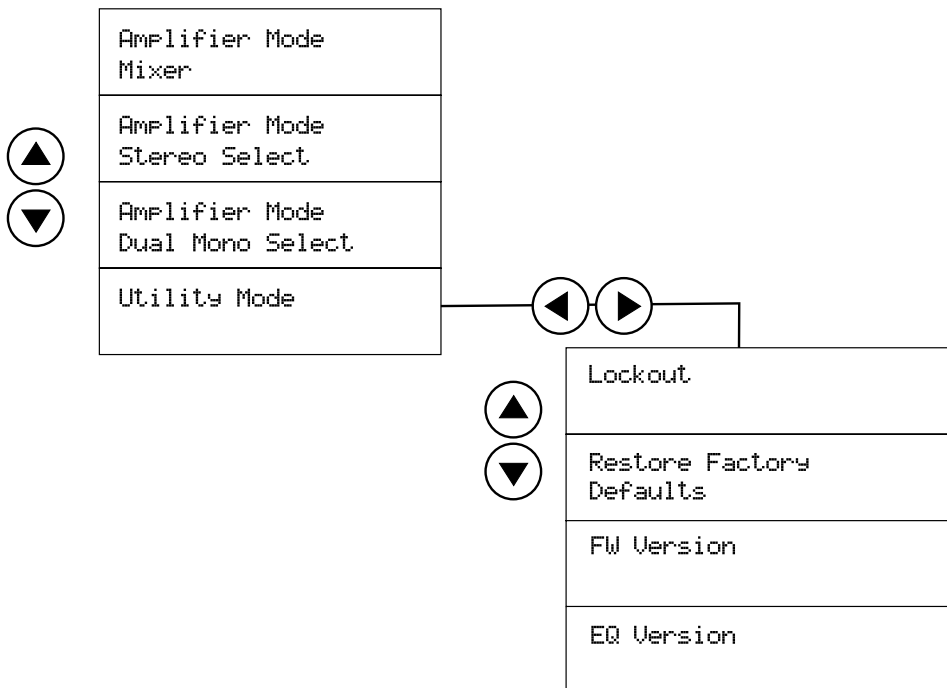
ユーティリティモードには、2つのグローバルシステムオプションとして、「Lockout」(ロックアウト)と「Restore Factory Defaults」(出荷時設定の復元)があります。また、現在のシステムファームウェア/EQのバージョンも確認できます。

「Lockout」(ロックアウト)オプションを選択すると、システム設定をロックして、意図しない変更を回避することができます。ロックアウトを解除するには、左矢印ボタンと右矢印ボタンを同時に5秒間押し続けます。「Lockout Off」(ロックアウト解除)と表示されます。

「Restore Factory Defaults」(出荷時設定の復元)オプションでは、ソフトウェアの選択可能な設定をすべて元の出荷時設定に戻すことができます。42ページの「出荷時設定」を参照してください。

注: 調節つまみで行った設定はリセットされません。

ユーティリティモードの選択



- **「FW Version」**(ファームウェアバージョン): システムファームウェアのバージョン番号を表示します。
- **「EQ Version」**(EQバージョン): スピーカーのEQのバージョン番号を表示します。

故障かな？と思ったら

| トラブル | 対処方法 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 電源が入らない | <ul style="list-style-type: none"> 電源スイッチをオンにします。 電源コードのプラグが差し込まれていることを確認します。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 電源が入っているのに音が聴こえない | <ul style="list-style-type: none"> ソースの電源が入っていることを確認します。 ソースから入力信号が出ていることを確認します。本体前面のオーディオ入力信号インジケータが緑になっているのが正しい状態です。 システムコントロールの出力信号インジケータを確認します。LEDが(緑で)点灯しない場合は、出力レベルが低すぎる可能性があります。 ソースのルーティングを確認します。 ソースと本体を繋いでいるケーブルの接続を確認します。 選択した動作モードに適したユーザーインターフェースを使用していることを確認します。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 電源が入っているのに音量が小さい | <ul style="list-style-type: none"> オーディオ入力インジケータが(緑で)点灯していることを確認します。点灯していない場合は、ソース出力を上げるか、入力ゲインを上げます。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 音声が歪む | <ul style="list-style-type: none"> 入力クリップインジケータが(赤く)点灯していないことを確認します。LEDが赤色の場合、ソースの出力レベルを下げるか、入力ゲインを下げます。 出力クリップインジケータが(赤く)点灯していないことを確認します。出力クリップLEDが赤く点灯して、入力クリップLEDが点灯していない場合は、出力ゲインを下げます。 本体に供給される入力ソース信号に問題がなく、入力/出力インジケータが緑の場合は、スピーカーへの出力が過剰でないか、または損傷していないか確認します。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 異常な音がする | <ul style="list-style-type: none"> 出力チャンネルに接続されたスピーカーに適したEQが選択されていることを確認します。 スピーカーが正しく(+と+、-と-)配線されていることを確認します。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ユーザーインターフェースが正しく動作しない | <ul style="list-style-type: none"> ユーザーインターフェースが正しく配線され、(複数のゾーンがある場合は)適切なゾーンに接続されていることを確認します。 ケーブルが断線またはショートしていないか確認します。 選択した動作モードに適したユーザーインターフェースを使用していることを確認します。 |

その他の情報

お使いの製品に関する詳細情報や、交換用アクセサリにつきましては、pro.Bose.comの弊社Webサイトをご参照ください。

保証

保証の内容および条件につきましては、付属の保証書をご覧ください。保証の詳細については、pro.Bose.comにアクセスしてください。

製造日

シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「6」は2006年または2016年です。

出荷時設定

| チャンネル | パラメータ | ミキサー | ステレオ | デュアルモノ | パラメータ範囲 |
|--------------|---------------------------------------|--------------|--------------|--------------|------------|
| Input 1 | Bass | 0 dB | 0 dB | 0 dB | -6~+6 dB |
| | Treble | 0 dB | 0 dB | 0 dB | -6~+6 dB |
| | AGC Enable | N | N | N | |
| Input 2 | Bass | 0 dB | 0 dB | 0 dB | -6~+6 dB |
| | Treble | 0 dB | 0 dB | 0 dB | -6~+6 dB |
| | AGC Enable | N | N | N | |
| Input 3 | Bass | 0 dB | 0 dB | 0 dB | -6~+6 dB |
| | Treble | 0 dB | 0 dB | 0 dB | -6~+6 dB |
| | AGC Enable | N | N | N | |
| Input 4 | Bass | 0 dB | 0 dB | 0 dB | -6~+6 dB |
| | Treble | 0 dB | 0 dB | 0 dB | -6~+6 dB |
| | AGC Enable | N | N | N | |
| Page Input | Bass | 0 dB | 0 dB | 0 dB | -6~+6 dB |
| | Treble | 0 dB | 0 dB | 0 dB | -6~+6 dB |
| | Trigger Mode | PTT | PTT | PTT | |
| | Page Ducking | -20 dB | -20 dB | -20 dB | -50~0 dB |
| Direct Input | Volume | 0 dB | 0 dB | 0 dB | -40~+10 dB |
| | Bass | 0 dB | 0 dB | 0 dB | -6~+6 dB |
| | Treble | 0 dB | 0 dB | 0 dB | -6~+6 dB |
| その他 | Master Volume Linked | N | | | |
| Output 1 | *Out 1/2 Input Sel(ステレオモードのみ) | | | | |
| | Out 1 Input Sel(デュアルモノモードのみ) | | | 1 | |
| | Input Mix - Input 1(ミキサーモードのみ) | Y | | | |
| | Input Mix - Input 2(ミキサーモードのみ) | N | | | |
| | Input Mix - Input 3(ミキサーモードのみ) | N | | | |
| | Input Mix - Input 4(ミキサーモードのみ) | N | | | |
| | Spkr EQ Preset | 01 80 Hz HPF | 01 80 Hz HPF | 01 80 Hz HPF | |
| | Dynamic EQ Enable | N | N | N | |
| | Page Enable | N | N | N | |
| | Page Level | 0 dB | 0 dB | 0 dB | -20~+20 dB |
| Output 2 | *Out 1/2 Input Sel(ステレオモードのみ) | | *1/2 (2) | | |
| | Out 1 Input Sel(デュアルモノモードのみ) | | | 3 | |
| | Input Mix - Input 1(ミキサーモードのみ) | Y | | | |
| | Input Mix - Input 2(ミキサーモードのみ) | N | | | |
| | Input Mix - Input 3(ミキサーモードのみ) | N | | | |
| | Input Mix - Input 4(ミキサーモードのみ) | N | | | |
| | Spkr EQ Preset | 01 80 Hz HPF | 01 80 Hz HPF | 01 80 Hz HPF | |
| | Dynamic EQ Enable | N | N | N | |
| | Page Enable | N | N | N | |
| | Page Level | 0 dB | 0 dB | 0 dB | -20~+20 dB |
| Auxout | Auxout Input Sel(ステレオ/デュアルモノモード) | | 1+2ミックス | 1固定 | |
| | Auxout Input Mix - Input 1(ミキサーモードのみ) | Y | | | |
| | Auxout Input Mix - Input 2(ミキサーモードのみ) | N | | | |
| | Auxout Input Mix - Input 3(ミキサーモードのみ) | N | | | |
| | Auxout Input Mix - Input 4(ミキサーモードのみ) | N | | | |
| | Spkr EQ Preset | 01 80 Hz HPF | 01 80 Hz HPF | 01 80 Hz HPF | |
| | Dynamic EQ Enable | N | N | N | |
| | Page Enable | N | N | N | |
| | Page Level | 0 dB | 0 dB | 0 dB | -20~+20 dB |

*これらのパラメータはリンクされ、同じメニュー画面に表示されます。かっこ内の数字は、自動的に選択されてそれぞれの出力にルーティングされる入力を示します。

連絡先情報

pro.Bose.comのWebサイトにアクセスしてください。

南北アメリカ

(米国、カナダ、メキシコ、中央アメリカ、南アメリカ)
Bose Corporation
Framingham, MA 01701 USA
Corporate Center: 508-879-7330
Americas Professional Systems,
Technical Support: 800-994-2673

オーストラリア

Bose Pty Limited
Unit 3/2 Holker Street
Newington NSW Australia
61 2 8737 9999

ベルギー

Bose N.V./ S.A
Limesweg 2, 03700
Tongeren, Belgium
012-390800

中国

Bose Electronics (Shanghai) Co Ltd
25F, L'Avenue
99 Xianxia Road
Shanghai, P.R.C.200051 China
86 21 6010 3800

フランス

Bose S.A.S
26-28 avenue de Winchester
78100 St. Germain en Laye, France
01-30-61-63-63

ドイツ

Bose GmbH
Max-Planck Strasse 36D 61381
Friedrichsdorf, Deutschland
06172-7104-0

輸入者情報

EU

Bose Products B.V., Gorslaan 60, 1441 RG Purmerend, The Netherlands

中国

Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Part C, Plan 9, No. 353 North Riyang Road, China
(Shanghai) Pilot Free Trade Zone

台湾

Bose Taiwan Branch, 9F-A1, No. 10, Section 3, Minsheng East Road, Taipei City 104, Taiwan
Tel: 886 2 2514 7977

メキシコ

Bose de México, S. de R.L. de C.V., Paseo de las Palmas 405-204, Lomas de Chapultepec, 11000 México,
D.F.
Tel: 001 800 900 2673

香港

Bose Limited
Suites 2101-2105, Tower One, Times Square
1 Matheson Street, Causeway Bay, Hong Kong
852 2123 9000

インド

Bose Corporation India Private Limited
Salcon Aurum, 3rd Floor
Plot No. 4, Jasola District Centre
New Delhi - 110025, India
91 11 43080200

イタリア

Bose SpA
Centro Leoni A - Via G. Spadolini
5 20122 Milano, Italy
39-02-36704500

日本

ボーズ合同会社
〒106-0032
東京都港区六本木 1-4-5
アークヒルズサウスタワー 13F
TEL 0570-080-021
www.bose.co.jp

オランダ

Bose BV
Nijverheidstraat 8 1135 GE
Edam, Nederland
0299-390139

英国

Bose Ltd
1 Ambley Green, Gillingham Business Park
KENT ME8 0NJ
Gillingham, ENGLAND
0870-741-4500

その他の国については、Webサイトをご覧ください



298725-0010

©2017 Bose Corporation, All rights reserved.
Framingham, MA 01701-9168 USA
www.pro.Bose.com
すべての商標は所有権を保持する各社に帰属します。
AM298725 Rev. 03
OM-1378-I
18 • 04(B)

